

2025 年度事業報告書



一般財団法人 出版文化産業振興財団

目 次

2025 年度事業報告	1
2025 年度収支報告書及び財産目録	40
2026 年度事業計画並びに予算	52
定款	63

2025 年度事業報告

(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人 出版文化産業振興財団

<総務関係>

1. 理事会・評議員会の開催

①第 139 回理事会

月日：6 月 9 日 会場：如水会館

議題：第 1 号議案 2024 年度事業報告

第 2 号議案 2024 年度決算報告並びに監査報告

第 3 号議案 2025 年度事業計画並びに収支予算

第 4 号議案 一部評議員交代

退任評議員 齊藤昌典（TOPPAN）

新任評議員 岡沢宏和（TOPPAN クロレ）

第 5 号議案 第 90 回評議員会の開催（6 月 25 日）

報告事項 新たな事業への取り組み

報告事項 業界課題への取り組み

報告事項 『この本読んで！』休刊について

報告事項 フランス視察について

②第 90 回評議員会

月日：6 月 25 日 会場：出版クラブビル

議題：第 1 号議案 2024 年度事業報告

第 2 号議案 2024 年度決算報告並びに監査報告

第 3 号議案 2025 年度事業計画並びに収支予算

第 4 号議案 一部評議員交代

報告事項 新たな事業への取り組み

報告事項 業界課題への取り組み

報告事項 『この本読んで！』休刊

報告事項 フランス視察

③第 91 回評議員会 並びに 第 140 回理事会

月日：12 月 12 日 会場：出版クラブビル

議題：第 1 号議案 2025 年度上期事業報告並びに収支報告

第 2 号議案	2025 年度下期事業計画
報告事項	秋の読書推進月間 BOOK MEETS NEXT
報告事項	業界課題への取り組み
報告事項	会計基準変更への対応
報告事項	資金運用状況

④第 92 回評議員会 並びに 第 141 回理事会

月日：3 月 23 日 会場：出版クラブビル

議題：第 1 号議案 2025 年度事業報告並びに収支見通し

第 2 号議案 2026 年度事業計画並びに収支予算案

報告事項 BOOK MEETS NEXT 2026 開催骨子

報告事項 TOKYO INTERNATIONAL RIGHTS MEETING（東京著作権説明会）

報告事項 業界課題への取り組み

報告事項 その他

事業報告

1. 生涯学習事業

①第 32 期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」

読書を通じた生涯学習ならびに読書活動の推進を目的に、「本」や「読書」の魅力を多角的に掘り下げる講座として、1993 年より継続して提供しています。

2025 年度は第 32 期として 8 月より開講し、全 4 回・8 日間にわたり、千代田区の出版クラブホールにて講座を実施しました。今期もカリキュラムを更新し、各分野の第一線で活躍されている講師陣にご登壇いただきました。

修了記念講演には、文芸評論家の三宅香帆さんをお招きし、「ノイズと言語化」と題した講演を実施しました。『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』（集英社新書）や『「好き」を言語化する技術』（ディスカヴァー携書）などの著作に関する創作エピソード等をご紹介いただき、受講生にとって考察を深める機会となりました。

2026 年 3 月におこなわれた修了式では、第 31 期の補講修了生を含む 110 名が修了し、新たな JPIC 読書アドバイザーが誕生しました。第 1 期からの累計では、JPIC 読書アドバイザー修了者数は延べ 3,100 名に達しています。

（受講料：一般 58,000 円／JPIC 賛助会員 53,000 円）

* 一般財団法人 日本児童教育振興財団 助成活動



修了記念講演 三宅香帆さん



受講生代表、修了証書授与

<講座 スケジュール一覧>

日程	回数	カリキュラム課目/講座タイトル	講師
2025 年 8 月 30 日（土）	第 1 回①	開講式 「講座のねらいと JPIC のこと」 「変化する出版流通とこれからの書店に 求められること～海外の書店状況を参考に」 「雑誌の個性と雑誌編集の基本」 開講記念講座「そもそも書店とはなんだろう？」	松木修一 星野 渉 富川淳子 鹿島 茂
8 月 31 日（日）	第 1 回②	「ひとり出版社の続け方」 「出版流通のしくみと課題」 「本を売る場所から、読書の楽しさを届ける場所 ー町の本屋の SNS 戦略」 「印刷製本 いま・むかし」	島田潤一郎 柴野京子 小西康裕 佐々木 愛
11 月 1 日（土）	第 2 回③	「子どもを取り巻く状況の変化 ～今こそ読書を！～」 「図書館の公共性 ー知ること・読むことを保障する自治体行政ー」 「本を紹介するという仕事」	鈴木みゆき 嶋田 学 東 えりか
11 月 2 日（日）	第 2 回④	「読書から「誰一人取り残さない」ために ～読書バリアフリーの理論と実践～」 「人と本が会おう仕掛けづくり」 グループディスカッション討議/発表	野口武悟 内沼晋太郎
2026 年 1 月 24 日（土）	第 3 回⑤	「本のある場づくりの方法とその背景」 「10 代の読書」 「読み聞かせ基本の基」	染谷拓郎 飯田一史 児玉ひろ美
1 月 25 日（日）	第 3 回⑥	「本の探し方、本の見つけ方」 「ブックトークで子どもに本を手渡そう」 「本で拓くまちの未来 ～出合い方、出合う意味から変える～」 ワークショップ 「本との出合いを楽しもう」	落合早苗 徐 奈美 田口幹人
3 月 28 日（土）	第 4 回⑦	「90 分で学ぶ 読書・市民・文化活動と著作権」 「修了生にきく」 グループディスカッション討議/発表	福井健策 阿久津弘隆 遠山秀子

3月29日（日）	第4回⑧	「本と電子書籍による「読書の未来」 『週刊少年ジャンプ』ができるまで ～世界に広がる「漫画」の現在地～ 記念講演 「ノイズと言語化」 修了式	植村八潮 中野博之 三宅香帆
----------	------	---	--------------------------

<第32期受講生 属性一覧>

男女計	男性	女性	年代別									
115	21	94	115	0	21	15	23	39	16	1		
地域別計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
115	3	4	80	2	1	8	7	5	1	4	0	

職業別	図書館	書店	出版社	出版関係	販売会社	公務員
	39	6	7	2	11	7
115	主婦	自営業	教員	学生	会社員	その他
	4	2	9	2	14	12

②「JPIC 読書アドバイザークラブ（JRAC）」の活動支援

1993年にスタートした「JPIC 読書アドバイザー養成講座」は、2025年度末時点で修了生が約3,100名に達しました。修了生は、自主運営による組織「JPIC 読書アドバイザークラブ（JRAC）」を結成し、全国各地で意欲的な活動を展開しています。

JRACでは、「JRAC 通信」の発行や、会員専用ホームページを通じた情報交換、各種学習会の開催など、多彩な取り組みをおこなっています。さらに、身近な会員同士のつながりを生かした地域支部も設



受賞者とJRAC選書メンバー
撮影／石川正勝

けられており、現在は13の支部と3つの学習グループが、それぞれ特色ある活動を続けています。

JPICとしても、JRACの活躍の場をさらに広げるべく、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」における読みきかせ講義の講師派遣や、「スミセイおはなしひろば」でのボランティア向け学習会への協力など、主催・受託事業を通じて連携を深めています。また、業界内外からの依頼や問い合わせにも応え、読書推進の新たなモデルとなる事例も数多く生まれています。加えて、「マンガ感想文コンクール」や

「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」の審査などにも携わり、活動の幅を広げています。

2019 年からは、『この本読んで！』との共同企画として「親子で読んでほしい絵本大賞」を年 1 回開催しています。選考委員が選んだ 12 作品の候補作を会員が実際に読み、投票による選考を経て受賞作を決定・表彰しています [第 7 回大賞:『クジラがしんだら』(童心社)、ベビー賞:『もっちゃん』(Gakken)]。

このほか『この本読んで！』誌上では、毎号 JRAC 会員が、おはなし会のプログラム紹介や新刊案内などを担当しており、読者からも好評を得ている人気コーナーとなっています。

(JRAC 会員：632 名／2025 年度末現在)

③各種読書講習会

「JPIC 読みきかせサポーター講習会」

◎基礎編

読みきかせボランティアの育成を目的として、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」を 1999 年より開催しています。絵本作家の講演と、JPIC 読書アドバイザーによる実技講習で、基本を学べる講習会と好評。リピーターも多い講習会です。

第一部はスギヤマカナヨさん（絵本作家）による特別講演、第二部は JPIC 読書アドバイザーによる読みきかせの基礎講義、第三部は参加者が少人数のグループに分かれ、各自持ち寄った絵本を用いて読みきかせを実践し、終了間際までその内容や手法について活発に意見交換がおこなわれました。



グループワークにて読みきかせをする参加者

◎学びを深める編

2009 年度からスキルアップのための講座としてスタートしました。現在は、読みきかせ活動経験者のほか、幼児教育関係者などにも対象をひろげ開催しています。

第一部で浜田桂子さん（絵本作家）を特別講師に迎え、代表作である『へいわってどんなこと？』（童心社）を中心に、創作エピソードや絵本に込めた思いを語っていただきました。第二部は JPIC 読書アドバイザーより読みきかせの講座を、第三部は上野与志さん（絵本作家、児童書出版社・著作者懇談会 元座長）から著作権についての講義を受け、すぐにかせる知識を習得することができました。

※基礎編、学びを深める編共に、副読本として『この本読んで！』79号（21年夏号）[特集：読みきかせ完全ガイド]、『おはなし会・読みきかせ 著作権ハンドブック』（ともにJPIC刊）を配布。

（参加費：2,500円）

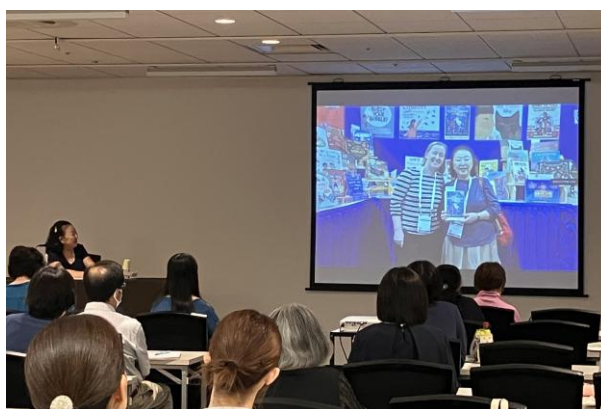
*子どもゆめ基金（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）助成活動

	日付	地区	会場	特別講師	参加者数
基礎編	12月7日	神奈川県川崎市	出版クラブビル	スギヤマカナヨ	102
学びを深める編	8月24日	東京都千代田区	ステーション コンファレンス 川崎	浜田桂子	112

「子どもたちを本の世界へ」

子どもが「本」の世界を楽しむために、大人はなにができるのでしょうか。絵本の読みきかせから児童書・読みものなどのひとり読みへの移行期について考えるフォーラムを開催しました。

午前の部は、児童文学作家 柏葉幸子さんによる特別講演。午後の部はクラスをふたつに分け、小学校司書教諭とJPIC読書アドバイザーによる講義やブックトークの実演、ワークショップを実施しました。



アメリカでのブックツアーについて語る柏葉さん

※参加特典として『この本読んで！』80号（21年秋号）[特集：絵本から読みものへ]（JPIC刊）を配布。

（参加費：午前の部のみ1,500円／1日通し参加3,000円）

*子どもゆめ基金（独立行政法人 国立青少年教育振興機構）助成活動

日付	地区	会場	特別講師	参加者数
7月26日	宮城県仙台市	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	柏葉幸子	56

2025年度末で「各種読書講習会」は累計560回、延べ参加者が約54,370名となりました（「JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編」、「JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編」「子どもたちを本の世界へ」のほか、過去の関連講座「読書サポーター講習会」、「子どもの本講習会」、「YA文学講座」を含む）。

2. 調査研究事業

①出版業界諸課題の改善・解決に向けた研究・検討

「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」の業界事務局として、各省庁との連携を継続。

そのほか10月25日（土）～11月23日（日・祝）には、出版業界が一丸となって取り組むことをめざしたキャンペーン「BOOK MEETS NEXT」を実施しました。今回も SARTRAS の助成を受け、プロデューサー制を導入し、「書店を楽しむイベント」「書店へ行くきっかけづくり」「本に興味をもってもらう」をキーワードに合計97の企画を実施しました。さらに期間中は全国の書店でBOOKスタンプラリーや書店独自企画などが開催され、2,994書店が参加。公式サイトを大幅リニューアルし、アクセス数は約8.1万件まで増加（昨年4.6万件）。



3. 情報提供事業

①「JPIC NEWSLETTER」の発行

賛助会員の皆様への報告として「JPIC NEWSLETTER」を月1回発行しており、ホームページからもご覧いただけます。財団の活動詳細を発信しています。2025年度中に12号を発行し、通巻276号となりました。



②WEB情報発信ツール

「JPIC ホームページ」

財団の事業を幅広く紹介し、活動スケジュールやイベント概要などをいち早く提供するため、1998年よりホームページを公開しています (<https://www.jpica.or.jp>)。

主催事業の「JPIC 読書アドバイザー養成講座」「JPIC 読みきかせサポーター講習会」などを HP 訪問者が記事内のリンク先 WEB フォームを通して申し込みができるようにしています。

「マンガ感想文コンクール」「MINT」などは、個別の公式サイトを作成し、より充実させた情報を届けています。



「SNS (X、LINE)」

JPIC 公式 X (@jpica_web) で最新情報を発信。また「JPIC 読みきかせサポーター講習会」公式 LINE アカウントでは、講習会や関連イベントの告知、『この本読んで！』と連動した絵本の情報などをお知らせしています。

「メールマガジン (JPIC 通信)」

JPIC の情報を希望される方に「メールマガジン (JPIC 通信)」を配信。全国の本に関心のある方々に講習会やイベント情報等を地域に合わせて発信しています。

(2025 年度末メールマガジン読者：13,700 名)

③季刊誌『この本読んで！』の発行

読書推進活動の一環として子どもに本を手渡す、すべての方に向け、2001 年 11 月に創刊した季刊誌『この本読んで！』。2025 年度は 95 号 (25 年夏号) から 98 号 (26 年春号) の 4 冊を発行しました。

JPIC 読書アドバイザーの選書によるおはなし会プログラムや、毎号 100 冊の新刊絵本の紹介、さまざまな切り口での特集など、子どもの本の情報を見やすいカラー誌面で構成し、人気作家の描きおろし連載も好評です。バックナンバーの 89 号 (23 年冬号) の絵本作家「かがくいひろし」大特集は、同作家の原画展巡回会場でも販売し、売上を伸ばしました。



創刊当時の定期購読も多く、約 7,500 部を発行。一般読者や図書館等への定期購読直販のほか、メディアパルに委託し、全国の書店でも販売しています。

発行 形態	・発行：年 4 回（6・9・12・3 月初旬） ・形態：A4 変形・72 ページ	
掲載 記事	95 号 2025 年夏 6/5 発売	特集：夏休みに出かけよう！子どもと本が出合う場所 ：おはなし会のいま 第 1 弾 ：子どもと一緒に 平和を考える本 表紙：堀川理万子
	96 号 2025 年秋 9/8 発売	特集：絵童話・幼年童話で ひとり読みの楽しさを ：おはなし会のいま 第 2 弾 表紙・インタビュー： 『すてきなひとりぼっち』（のら書店）なかがわちひろ
	97 号 2025 年冬 12/8 発売	特集：昔ばなしを遺す、伝える、楽しむ ：写真絵本 表紙・インタビュー： 『バルバルさん』（福音館書店）西村敏雄
	98 号 2026 年春 3/5 発売	特集：カテゴリー別 おすすめ絵本 ：第 7 回 親子で読んでほしい絵本大賞 発表 総集編企画：バックナンバーインデックス 表紙：保坂あけみ
価格	・定価：1,320 円（税込） ・定期購読（4 冊）：5,280 円（税込・送料無料）	

今年度も JRAC（JPIC 読書アドバイザークラブ）との共同企画、第 7 回「親子で読んでほしい絵本大賞」を開催。『この本読んで！』の 94～97 号で紹介した新刊絵本 400 冊から JRAC 会員が実際に読んで投票し、大賞作品を決定。98 号の誌面で発表しました。

このほか、『この本読んで！』ONLINE として、子どもの読書を広げていくために大人ができることを学ぶ講座を開催しました。

	日程	イベント名	講師	参加 者数
1	8 月 2 日	子どもと広げる読書の世界 第 1 回「子どもが本好きになる 読書環境をつくろう！」	白坂洋一	166
2	10 月 4 日	子どもと広げる読書の世界 第 2 回「教科書から広がる 子どもの読書の世界」	白坂洋一	199
3	12 月 23 日	「子どもも！ 大人も！ 岩波少年文庫を楽しもう」 （視聴期間 ～1 月 23 日）	愛宕裕子 辻内千織	208

4. 交流協力事業

①地域読書環境整備事業

北海道礼文町支援

書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」の支援を受けて、JPIC と礼文町教育委員会の共同事業として 1993 年 10 月にオープンした「Book 愛ランドれぶん」。2025 年度の売上冊数は 1,741 冊でした。

動画で学ぶ「はじめての読みきかせ」の実施

JPIC が制作した読みきかせを学べる動画（全 6 編）視聴と実技のハイブリッド講座「動画で学ぶはじめての読みきかせ」は JPIC 主催の 3 会場、自治体開催、JA 開催、学校開催（各 1 会場）の計 6 回実施しました。JPIC 主催では JPIC 読書アドバイザーと、2022 年～2025 年の JPIC 読みきかせサポーター講習会受講者を対象に関東会場、関西会場で開催（それぞれ参加者は 35 名、23 名）。ほか第 32 期 JPIC 読書アドバイザー養成講座受講生を対象に実施しました（参加者 40 名）。

自治体では福島県飯舘村で開催。また JA 大阪中河内の読みきかせグループ（おはなしぽん）の勉強会としても開催いたしました。石川県羽咋市立邑知中学校では授業時間の 2 コマを使って開催。事前に動画視聴していた生徒 16 名が、読みきかせの基本の講座を受講後、ペアで読み合う練習をし、そのあと発表という流れで進行了ました。



関西会場での講座の様子

* SARTRS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

「はたちの 20 冊」

10～20 代の若者への読書推進事業として、2010 年度から制作している『はたちの 20 冊』。2025 年度も著名人 5 名が各 3 冊、各自治体が 5 冊を自由に選書して制作、主にはたちのつどいで配布されました。

関連の出張授業は 11 月 10 日（月）に山口県田布施町立田布施中学校で講師に角田夏実さん（柔道家）を迎え開催。全校生徒 305 名と町民約 100 名が参加しました。もう 1 会場は神奈川県横浜市中心図書館で 12 月 19 日（金）に講師に朝井リョウさん（作家）を迎えて開催。対象を市内在住、在学、在勤の 25 歳以下で募集をし、抽選の結果 52 名が参加。参加者の悩みにお勧めの本を朝井さんが紹介。朝井さんファン、本好きの若者たちの熱気で会場は大盛り上がりでした。



山口県田布施町で開催した出張授業の様子



「はたちの 20 冊」冊子

* SARTRS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

選者 (敬称略)	書名	著者	出版社
秋山寛貴	『ボッコちゃん』	星 新一 著	新潮社
	『ぼくらの仮説が世界をつくる』	佐渡島庸平 著	ダイヤモンド社
	『それしかないわけないでしょう』	ヨシタケシンスケ 著	白泉社
朝井リョウ	『逃亡の書 西へ東へ道つなぎ』	前川仁之 著	小学館
	『トゥモロー・アンド・トゥモロー・アンド・トゥモロー TOMORROW,AND TOMORROW,AND TOMORROW』	ガブリエル・ゼヴィン 著 池田真紀子 訳	早川書房
	『村に火をつけ、白痴になれ 伊藤野枝 伝』	栗原 康 著	岩波書店
大野拓朗	『松田正隆 I 一夏の砂の上／坂の上の家／蝶のやうな私の郷愁』	松田正隆 著	早川書房
	『さくら』	西 加奈子 著	小学館
	『あさきゆめみし 新装版』 全7巻	大和和紀 著	講談社
岡崎紗絵	『傲慢と善良』	辻村深月 著	朝日新聞出版
	『あした死ぬかもよ？ 人生最後の日に笑って死ぬ 27 の質問』	ひすいこたろう 著	ディスカヴァー・ トゥエンティワン
	『ぼく モグラ キツネ 馬』	チャーリー・マッケジー 著 川村元気 訳	飛鳥新社
角田夏実	『夢をかなえるゾウ 1』 文庫版	水野敬也 著	文響社
	『YAWARA!』 完全版 全20巻	浦沢直樹 著	小学館
	『そして誰もいなくなった』	アガサ・クリスティー 著 青木久恵 訳	早川書房

②「上野の森 親子ブックフェスタ 2025」の開催

2025 年 5 月 4 日（日・祝）～5 日（月・祝）、台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて、「上野の森 親子ブックフェスタ 2025」が多数の後援・協賛・協力のもと開催されました。

■主催：子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会、
一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）

■後援：国立国会図書館、経済産業省、文部科学省、こども家庭庁、東京都教育委員会、台東区、
公益社団法人全国学校図書館協議会、公益社団法人読書推進運動協議会、
一般社団法人日本国際児童図書評議会、一般社団法人日本雑誌協会、
一般社団法人日本児童出版美術家連盟、一般社団法人日本児童文学者協会、
一般社団法人日本児童文芸家協会、一般社団法人日本出版取次協会、
日本書店商業組合連合会、公益社団法人日本図書館協会、
公益財団法人文字・活字文化推進機構、一般社団法人 YA 出版会、読売新聞社

■協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会

■協賛：総合警備保障株式会社、NPO 法人読書の時間、一般財団法人日本児童教育振興財団、
一般社団法人日本書籍出版協会、日本図書普及株式会社、公益財団法人博報堂教育財団、
楽天ブックス



多くの来場者で賑わう会場



被爆ピアノ演奏の様子

今年も出版業界横断で展開する読書推進活動「BOOK MEETS NEXT」の一環として実施。晴天に恵まれた会場には、2 日間で前年の約 28,500 人を大きく上回る約 34,000 人が来場。イベントテントでは、おはなし会や歌遊びなどを開催し、講談社「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーにも多くの親子が参加。また、各出展者のブースでも連日多くの作家が訪れ、サイン会やおはなし会などを開催、親子で楽しく参加される様子が見られました。

さらに「被爆・終戦 80 年」の本年、広島の前爆投下の戦火にも耐え生き残った「被爆ピアノ」を会場内に展示し、ピアニストのジェイコブ・コーラーさんによる演奏会がおこなわれ、多くの観客で賑わいました。

参加企業・団体は前年の 65 社を大幅に超える 80 社が出展、絵本・児童書を中心に約 55,000

冊が陳列され、2 日間の売上は約 4,150 万円（前年比約 125%）に上り、過去最高となりました。5 月 5 日には、国際子ども図書館で講演会『被爆 80 年を想う－被爆ピアノ、平和の音色』を開催。『海をわたる被爆ピアノ』（講談社 2010 年刊）著者の矢川光則さんと特別ゲストスピーカーのジェイコブ・コーラーさんによる「被爆ピアノ」に対しての想いを通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて親子で考えてもらえるきっかけとなりました。

③「書店大商談会」への協力

2025 年度の「書店大商談会」は会場を数年ぶりに文京区・東京ドームシティ「プリズムホール」に戻して、11 月 4 日（火）に開催しました。合計 880 名の方が来場しました（出展社：130 社）。

関西では 11 月 11 日（火）、大阪市・グランフロント大阪で「BOOK EXPO 2025 秋の陣～もっと、繋がれ！書店力～」が開催され、総勢 1,273 名（出展社：209 社、来場書店員：598 名）が一堂に会し、熱気あふれる商談がおこなわれました。会場イベントは、おおでゆかこさん（絵本作家）のトーク＆サイン会、会場全体で実施のスタンプラリー、コミックブースでのスタンプラリー、大阪ほんま本大賞の今村翔吾さん（作家）のサイン会をおこないました。さらに恒例の「西日本 POP 王決定戦」は「手書き POP 部門」「ディスプレイ部門」合計で 362 作品の応募があり、当日会場ステージにて金賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者を表彰しました。

■主催：「書店大商談会」実行委員会、BOOK EXPO 実行委員会

■実行委員長：「書店大商談会」矢幡秀治・真光書店 代表取締役社長
「BOOK EXPO」野村文俊・野村呼文堂 専務取締役

■事務局協力：一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）

④「マンガ感想文コンクール 2025」の開催

日本が世界に誇る文化であるマンガ作品に触れ感想文を書くことを通じて、子どもたちの読書への関心および表現力の向上を図ることを目的に、2021 年より実施している事業です。

2025 年度は、文化庁ならびに 44 都道府県および 3 政令指定都市の教育委員会の後援、コミック出版社 9 社および出版関連企業 2 社の協力を得て開催し、全国の小学生・中学生・高校生より 14,270 通の応募作品が寄せられました。

2026 年 1 月 30 日（金）に最終審査をおこない、各部門のグランプリ 4 作品、特別賞 20 作品を個人賞として、また団体による応募の中から 10 校を団体賞として選出しています。

その結果を受け、3 月 13 日（金）に KADOKAWA の会議室にて個人賞受賞者を対象としたマンガ編集者との交流イベントを、翌 3 月 14 日（土）に出版クラブホール（千代田区）にて個人賞およ

び団体賞の受賞者・受賞校を対象とした授賞式を開催しました。

授賞式では、グランプリ受賞者に3万円分、特別賞受賞者に1万円分のオリジナル図書カードを贈呈し、加えてペイントアプリ「CLIP STUDIO PAINT」も授与しています。またグランプリ受賞者4名からは、作品に込めた思いや作文時のエピソードが語られ、マンガの魅力を改めて共有する機会となりました。

■協賛：株式会社秋田書店、株式会社アルファポリス、株式会社 KADOKAWA、株式会社講談社、株式会社集英社、株式会社小学館、株式会社スクウェア・エニックス、株式会社白泉社、株式会社双葉社、日本図書普及株式会社、株式会社セルシス（CLIP STUDIO PAINT）



授賞式に集った受賞者



学校・図書館等に配布したポスター

マンガ感想文コンクール 2025 受賞作品一覧

グランプリ受賞者

部門	学校名/学年/氏名	感想文題名 対象タイトル/出版社名/著者名
小学校 低学年の部	岐阜県 可児市立今渡南小学校 2年 前田いろは	「みなさん、はじめまして。」 『あかね噺』（集英社） 末永裕樹・馬上鷹将
小学校 高学年の部	大阪府 大阪市立粉浜小学校 4年 林 秋月	「ぼくだけの寝台特急カレー」 『ひとりたび2年生』（KADOKAWA） たかぎなおこ
中学校の部	東京都 東京都立桜修館中等教育学校 2年 小野寺七海	「山椒魚先輩にビッグリスペクト」 『孤独まんが』（筑摩書房） 山田英生[編]
高等学校の部	東京都 暁星高等学校 1年 宮野 恵	「「火の鳥」の倒し方」 『火の鳥』（KADOKAWA） 手塚治虫

特別賞受賞者

部門	学校名/学年/氏名	感想文題名 対象タイトル/出版社名/著者名
小学校 低学年の部	静岡県 静岡市立城北小学校 3年 大澤桜心	「ブルーロックとわたしのお兄ちゃん」 『ブルーロック』（講談社）金城宗幸・ノ村優介
	京都府 立命館小学校 1年 兒子碧衣	「わたしものみこまれたい」 『スパあんこうの胃袋』（KADOKAWA）あきばさやか
	長野県 長野市立共和小学校 2年 瀨 暁斗	「気持ちを考えて」 『SAKAMOTO DAYS』（集英社）鈴木祐斗
	東京都 私立白百合学園小学校 2年 渡辺カンナ	「つたわる思い」 『天国での暮らしはどうですか』（KADOKAWA）中山有香里
小学校 高学年の部	沖縄県 豊見城市立伊良波小学校 4年 川上新太	「頼って頼られて」 『宇宙兄弟』（講談社）小山宙哉
	神奈川県 川崎市立子母口小学校 6年 辻 雪乃	「私を救ってくれたマンガ」 『地縛少年花子くん』（スクウェア・エニックス）あいだいろ
	埼玉県 川口市立幸町小学校 5年 永井夕渚	「ユニークな仲間」 『COJI-COJI』（集英社）さくらももこ
	福岡県 春日市立日の出小学校 6年 米村 丞	「両さんに会いたい」 『こちら葛飾区亀有公園前派出所』（集英社）秋本治
中学校の部	兵庫県 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 3年 門永こと音	「アカギが変えた世界」 『アカギ』（竹書房）福本伸行
	栃木県 宇都宮市立鬼怒中学校 2年 倉持梨子	「記憶のピントの合わせ方」 『スキップとローファー』（講談社）高松美咲
	愛知県 中部大学春日丘中学校 3年 染川季穂	「自分のスキな真ん中」 『魔入りました！入間くん』（秋田書店）西修
	東京都 三鷹市立第二中学校 1年 西岡都晴	「働き者の優しい魔法」 『はたらく細胞』（講談社）清水茜
	滋賀県 大津市立志賀中学校 2年 橋本莉子	「SNSの使い方」 『BEASTARS』（秋田書店）板垣巴留
	東京都 足立区立千寿桜堤中学校 3年 水谷花奈	「言葉を残す。」 『チ。—地球の運動について—』（小学館）魚豊
高等学校の部	北海道 北海道遠軽高等学校 1年 奥田琉花	「自分の生き方について」 『チ。—地球の運動について—』（小学館）魚豊
	兵庫県 滝川高等学校 1年 小池友櫻	「未来を変える選択」 『ドラえもん』（小学館）藤子・F・不二雄
	石川県 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 1年 高山裕喜	「タウマゼインを」 『チ。—地球の運動について—』（小学館）魚豊
	埼玉県 秀明英光高等学校 1年 田中愛喜男	「時間を超えた旅」 『葬送のフリーレン』（小学館）山田鐘人・アベツカサ
	東京都 暁星高等学校 2年 藤井智仁	「ふつうという言葉の性質」 『ふつうの軽音部』（集英社）クワハリ・出内テツオ
	神奈川県 向上高等学校 2年 與儀鈴音	「縁の錬成陣」 『鋼の錬金術師』（スクウェア・エニックス）荒川弘

団体賞受賞校

宮城県 仙台市立東二番丁小学校／東京都 江戸川区立船堀第二小学校／大阪府 東大阪市立八戸の里小学校／千葉県 松戸市立旭町中学校／長野県 軽井沢町立軽井沢中学校／岡山県 倉敷市立東中学校／沖縄県 沖縄アミックスインターナショナル中学校／埼玉県 秀明英光高等学校／愛知県 愛知県立知多翔洋高等学校／兵庫県 滝川高等学校

⑤「本だなプロジェクト」

「本だなプロジェクト」は、これまで同様に出版社から提供いただいた本を、書店を通して施設に届ける仕組みで実施し、2025年度は16社から29冊の提供を受けました。また2023年度に制作した読みきかせのコツや絵本について学べる動画を施設に視聴いただき、著作権を含めた読みきかせの基礎について学んでもらった上で、おはなし会などを実施いただきました。

65施設の応募から30施設を7月末に決定し、8～10月にかけて本棚と本を届けました。各施設からの報告によると、のべ1699名がおはなし会に参加しました。



フリースクールでの読みきかせの様子

実施施設及びおはなし会参加人数

都道府県	施設分類	施設名
北海道	フリースクール	モシリナアスコーレ 初等部/中等部/夜間中学校
北海道	こども食堂	りすのほおぶくろ
岩手県	こども食堂	にこにこ食堂ざしきわらしの家
福島県	こども食堂	UFO こども食堂
福島県	こども食堂	ぱすかるキッズクラブ
茨城県	フリースクール	特定非営利活動法人 Happy えがお
茨城県	こども食堂	子ども食堂《タベルナ》
栃木県	こども食堂	鹿沼東子ども食堂晴れるや
群馬県	フリースクール	特定非営利活動法人ぐんま里山学校
東京都	こども食堂	わかまつ子ども食堂
東京都	こども食堂	専福寺
神奈川県	そのほか	津久井浜団地徒歩0分図書館
神奈川県	こども食堂	CAFE&SPACE L.D.K.
富山県	こども食堂	OHANA 食堂
岐阜県	こども食堂	一般社団法人こども食堂ナナカフェ

静岡県	こども食堂	特定非営利活動法人 W.Co まつぼっくり
愛知県	フリースクール	特定非営利活動法人たんぼぼの風
滋賀県	こども食堂	わつなぎの会 わつなぎ食堂
京都府	こども食堂	泉アガベセンター
大阪府	こども食堂	HALE ONO
奈良県	こども食堂	えがおのミカタこども食堂
山口県	こども食堂	キッズラップ
山口県	そのほか	里カフェ
徳島県	無料塾	こぼっさんところ
福岡県	こども食堂	CommunityFamilyTeam LUCE たけごはん
福岡県	こども食堂	春日まちづくり支援センター ぶどうの庭
熊本県	無料塾	苓北町志岐集会（苓北町民ホール）
大分県	こども食堂	明治てらこや食堂
鹿児島県	こども食堂	NPO 法人徳之島エンジェルキッズ
鹿児島県	こども食堂	子ども食堂「フリーズア」

協賛社と本のリスト

出版社名	タイトル
株式会社化学同人	さいこうにさいこうのプレゼント
株式会社化学同人	ドラゴンはどこ？
株式会社化学同人	パイをやいたウサギ
株式会社化学同人	魔女のバーバ・ヤガー
株式会社化学同人	変化朝顔図鑑
株式会社 Gakken	ハムスたんていと かいとうニャー
株式会社 KADOKAWA	角川の集める図鑑GET！ あそべる算数
株式会社くもん出版	日本昔ばなし ねずみのよめいり
株式会社光文社	むし岡だいきの「世界の昆虫」おった！図鑑 虫好きキッズが夢中になるびっくり満載の一冊
株式会社小学館	さわってたのしいレリーフブック おかしのどうぶつえん
株式会社竹書房	マインクラフト つながりの山
株式会社竹書房	メイドインアビス 1
株式会社竹書房	メイドインアビス 2
株式会社竹書房	メイドインアビス 3
株式会社竹書房	ぼのぼの 1
株式会社竹書房	ぼのぼの 2
学校法人玉川学園	ようこそ じごくへ

株式会社白泉社	ノラネコぐんだん きしゃぼっぽ
株式会社ひさかたチャイルド	でんしゃでいこう でんしゃでかえろう
株式会社ひさかたチャイルド	みかんのひみつ
株式会社福音館書店	しっぽのはたらき
株式会社福音館書店	てぶくろ
株式会社双葉社	ジュニア版クレヨンしんちゃん 1
株式会社双葉社	ジュニア版クレヨンしんちゃん 2
株式会社双葉社	ジュニア版クレヨンしんちゃん 3
株式会社フレーベル館	よるのどうぶつえん
文研出版	キャベツくん
株式会社ライツ社	放課後ミステリクラブ 1 金魚の泳ぐプール事件
株式会社理論社	だじゃれ日本一周

* SARTRAS（一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会）助成活動

5. 受託事業・業務等

①読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて各社が取り組む各事業に対し、読みきかせを開催する会場への読み手のコーディネートをおこなっています。

ア) おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」を1999年より、全国で開催しています。

（2025年度協力6書店、累計実績739書店）

イ) 取協読書推進事業「読み聞かせ会」

日本出版取次協会は、「読書推進」「書店店頭の活性化・増売」「第4土曜日は、こどもの本の日」の拡充をめざして、2002年秋に創立50周年記念行事として「読み聞かせ会」を開催しました。それ以降全国の希望書店で毎年おこなっています。

（2025年10月25日～12月21日の毎週土・日・祝、JPICコーディネート担当実施店43書店）

②「スミセイおはなしひろば」への協力

公益財団法人住友生命健康財団は、2001年度より、読書を通した子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出合う「スミセイおはなしひろば」を実施してい

ます。2025 年度は 2 地域（10 月滋賀県全域、11 月東京都町田周辺）で、4,884 名の園児が参加しました。（2025 年度実績 69 施設、累計 2,428 施設）

③「第 58 回 造本装幀コンクール」への協力

一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本印刷産業連合会が主催する「第 58 回 造本装幀コンクール」においては事務局を担いました。

今回は、2024 年の 1 年間に初版発行された本を対象に作品を募集し、162 者から 308 点の出品がありました。審査は、6 月 3 日（火）におこない、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめとする各賞（全 22 作品）を決定しました。9 月 29 日（月）には、授賞式と記念パーティーを出版クラブビルで開催し、受賞者や審査員など 135 名の出席者で大いに賑わいました。すべての出品作品は約 1 か月間、出版クラブビル 3F のクラブライブラリーで公開展示されました。

④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」は公益財団法人博報堂教育財団が「子どもたちの読書機会の拡大」を目的に 2020 年度にスタートした事業です。

第 5 回となる 2025 年度は、554 団体、42,103 作品の応募があり、一次と二次の選考を JPIC 読書アドバイザーが務めました。応募作品の募集やとりまとめなど事務局として関わっています。



2025 年度 作品募集チラシ

⑤文化庁「マンガ分野における産官学連携による人材育成プロジェクト」

2025 年 6 月に、「令和 7 年度 クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」の「コンテンツ分野における産学官連携による教育機関の機能強化支援（マンガ分野）」を受託。3 年計画でマンガ分野全般の人材を育成できるカリキュラムを教育機関に実装することをめざします。2025 年度は調査・ヒアリングをおこない、必要とされるカリキュラムや実践手段を検討。プロモーション、発想力、法律知識を 3 軸に、国内外で活躍できる人材の育成を目的とした講座制作を決定。マンガキャリアカレッジという公式サイトにて講座を配信します。2026 年度の開講に向け講座の収録を開始しています。

⑥文化庁「クリエイター派遣（マンガ分野）」

2025 年 8 月に「令和 7 年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業－クリエイター派遣－」を受託。次代を担う子どもたちの創造力・想像力などの資質・能力を育成するため、マンガ分野で活躍するクリエイター等を学校に派遣しました。北九州市、埼玉県川越市の小中学校 4 校 7 クラスにて、それぞれ 3 回にわたる授業をおこない、タブレットを使用するデジタルでのマンガ制作体験も実施しました。

⑦文部科学省 書店活性化事業「読書のまちづくり推進事業」

2025 年 4 月に「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」を受託。図書館と学校図書館が中心となり、地域の書店を含むさまざまな関係機関の連携協働による読書活動を促進し、地方創生に資する読書を通じたまちづくりのモデル事業を実施しました。2025 年度は、1～2 月に「書店と図書館がつなぐ未来の読者」という書店と図書館の共同イベントを 4 地域の図書館で開催。（愛知県田原市、長野県長野市、宮崎県都城市、熊本県熊本市）お互いの現状を伝え相互理解を深める合同研修会と書店と図書館が連携して一般読者へ向けた作家の講演会を運営、4 地域とも今まで難しかった書店による図書の出張販売も実現しました。

6. 出版コンテンツの海外発信事業

①内閣府 翻訳出版事業への協力

2014 年度に内閣府で開始された「対日理解の促進に資する書籍の翻訳出版事業」に協力しています。翻訳される機会の少ないノンフィクション作品を英訳出版し、海外の研究施設や大学図書館等を中心に寄贈することで、より深い日本理解促進を図る事業です。対象書籍は、文化・芸術から政治・外交・思想・社会・科学技術・自然科学まで、幅広い分野におよぶ日本の書籍の中から、各界各分野の第一人者である民間有識者 11 名からなる選定委員会にて選ばれました。

2025 年度は本事業の事務局であるクレアブ株式会社と連携し、JPIC 発行の英訳書籍 91 作品のうち下記 5 タイトルを電子版としてオープンアクセス化（配信業者 Knowledge Unlatched<アメリカ本社>を通して OAPEN 等のプラットフォームで配信）しました。

2025 年度 JPIC 発行オープンアクセス化書籍

- ・ *One Hundred Fifty Years of Japanese Foreign Relations: From 1868 to 2018*（英文版『日本外交の 150 年：幕末・維新から平成まで』波多野澄雄著、日本外交協会）

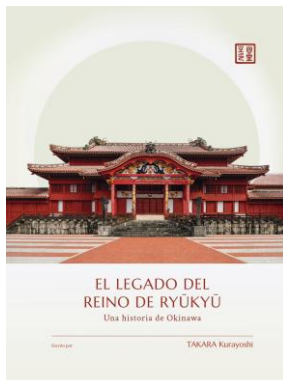
- ・ *The Entrepreneur Who Built Modern Japan: Shibusawa Eiichi* (英文版『渋沢栄一：社会企業家の先駆者』島田昌和著、岩波書店)
- ・ *Heritage Culture and Business, Kyoto Style: Craftsmanship in the Creative Economy* (英文版『京都型ビジネス 独創と継続の経営術』村山裕三著、NHK 出版)
- ・ *Bushido and the Art of Living: An Inquiry into Samurai Values* (英文版『日本人の知らない武士道』アレキサンダー・ベネット著、文藝春秋)
- ・ *Japan in Asia: Post-Cold-War Diplomacy* (英文版『アジアのなかの日本』田中明彦著、NTT 出版)

②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

2018 年度より公益財団法人日本国際問題研究所（国問研）からの受託事業として、政治・外交・歴史分野の書籍の英訳出版をおこなっています。2025 年度は 3 タイトルの翻訳書籍を刊行しました。発行書籍は、国内約 300 ヶ所、海外約 50 ヶ国 900 ヶ所の、大学図書館を中心とした研究機関や公共図書館等へ寄贈すると同時に、有償販売もおこなっています。

2025 年度 JPIC 発行書籍

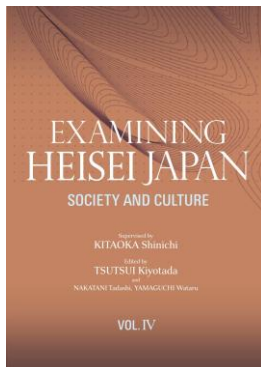
- ・ *El legado del Reino de Ryū kyū : una historia de Okinawa* (スペイン語版『琉球王国』高良倉吉著、岩波書店)



- ・ *O Legado do Reino de Ryukyu: Uma História Okinawana* (ポルトガル語版『琉球王国』高良倉吉著、岩波書店)



・*Examining Heisei Japan, Vol. IV: Society and Culture* (『論文集 平成日本を振り返る 第四巻 社会、文化』北岡伸一監修、筒井清忠責任編集・著者)



③図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」への協力

公益財団法人東京財団が実施する、日本理解促進のための図書寄贈事業「READ JAPAN PROJECT」に、事務局として2018年度より参画しています。在外公館が推薦する世界の図書館や研究機関へ、日本に関する英文図書354冊の中から希望を募り寄贈するプログラムです。JPICは寄贈先機関との連絡・図書発注・発送準備等の事務局運営を担っています。

2025年度は133機関、延べ14,535冊の寄贈をおこないました。

④TOKYO RIGHTS MEETING 2025 を主催

日本と海外の出版社・エージェントが一堂に会し、書籍の著作権に関する商談をおこなうTOKYO RIGHTS MEETING (旧称・東京著作権説明会)。2025年度は11月5日(水)・6日(木)の2日間にわたり、東京ドームシティ・プリズムホール(文京区)にて開催しました。前年より29社増となる計108社(日本95社、中国7社、フランス5社、ウクライナ1社)が出展し、約900名の出版関係者が参加。さらに、19カ国182社(日本69社、中国25社、韓国25社、台湾18社、タイ15社、アメリカ10社、イタリア3社、インドネシア3社、フランス2社、ロシア2社、マレーシア2社、イギリス1社、ベルギー1社、ドイツ1社、スペイン1社、トルコ1社、バングラデシュ1社、ウズベキスタン1社、ベトナム1社)、約550名が来場。2日間でのべ約1,450名が参加する国際的な出版商談会として、過去最大規模での開催となりました。



プリズムホールでの商談の様子

⑤文化庁「クリエイター等育成プログラム（マンガ分野）」

グローバルな活躍をめざすマンガ家や編集者を育成し、多様な日本マンガの国際的な認知と価値を向上させることを目的とした文化庁発信のプロジェクト「クリエイター等育成プログラム（マンガ分野）」で、JPIC は事務局として 12 名の育成対象者（マンガ家 6 名、編集者 6 名）の海外進出をサポート。海外展開に必要なノウハウの提供や国際的なイベントへの参加支援等を通して、国際的な視野を持って活躍できるマンガ家・編集者を育成します。

2025 年度は、マンガ家の木下いたるさんと担当編集者の松村朋香さんを全米最大級のアニメイベント「Anime Expo」（7 月 3 日～6 日・カリフォルニア州ロサンゼルス）に派遣したほか、マンガ家のかつしかけいたさんと小日向まるこさんをコミックイベント「Cartoon Crossroads Columbus」（9 月 20 日～21 日・オハイオ州コロンバス）に派遣。イベントでのブース出展やサイン会、トークイベントに参加した他、展覧会やワークショップを開催。現地ファンやマンガ関係者との交流を通して、北米圏でも自作の認知向上のために積極的なプロモーション活動をおこないました。受託金額 3 年 17,800 万円。

⑥文化庁「未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業」

「令和 7 年度 未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業」を 2025 年 11 月に受託しました。2026 年 3 月までの 4 か月間の短い期間となりましたが、JPIC がハブとなって一般社団法人日本書籍出版協会や独立行政法人国際交流基金、独立行政法人日本貿易振興機構と連携し、ロンドンでの拠点づくりやネットワークづくりを試行し、日本の小説家の国際的な活動をサポートしました。具体的には 3 月の The London Book Fair への日本ブース出展とあわせ、小説家 3 名のオーサーズツアーも実施し、大きな反響を得ることができ、これからのグローバル展開のためのきっかけとなりました。受託金額 4 か月約 1,7000 万円。

2025年度 JPIC活動スケジュール（上期/赤字：web配信イベント）

月 日	事 業・活 動	参加者数	場 所・会 場
4月1日	マンガ感想文コンクール2025 第1回実行委員会		Zoom会議
4月10日	TOKYO RIGHTS MEETING 出展社説明会	174名参加	株式会社メディアドゥ セミナールーム +web配信
4月21日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
4月25日	上野の森 親子ブックフェスタ2025 運営委員会		JPIC会議室
4月30日	BOOK MEETS NEXT 2025企画説明会		出版クラブホール +web配信
5月4日～5日	上野の森 親子ブックフェスタ 2025 (共催:子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会)	出展80社 売上4,150万円	上野恩賜公園
5月10日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第46回 ガイド役:安富ゆかりさん	327名参加	web配信
5月20日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
5月21日	BOOK EXPO 2025 幹事会		Zoom会議
6月3日	第58回 造本装幀コンクール審査会	162者308点	出版クラブ会議室
6月5日	『この本読んで！』第95号(2025年夏号)発行		
6月9日	第139回 理事会		如水会館 +web配信
6月12日	オンライントークセッション 野獣・怪人・プリンセス 現代でもエンタメとして生きる「おとぎ話」はスリリングな謎と秘密がいっぱい！ 講師:千野帽子さん、円堂都司昭さん	428名参加	web配信
6月16日	街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟総会		自由民主党本部
6月19日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
6月20日	BOOK EXPO 2025 第1回実行委員会		Zoom会議
6月26日	第十四回 書店大商談会 第1回実行委員会		Zoom会議
6月25日	第90回 評議員会		出版クラブ会議室 +web配信
7月3日	第十四回 書店大商談会 第1回実行委員会(予備開催)		Zoom会議
7月13日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第47回 ガイド役:安富ゆかりさん	318名参加	web配信
7月11日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
7月26日	子どもたちを本の世界へ in 仙台 特別講師:柏葉幸子さん	56名参加	TKPガーデンシティ PREMIUM仙台西口
7月31日	TOKYO RIGHTS MEETING 初出展社向けオンライン説明会	90名参加	web配信
8月2日	『この本読んで！』ONLINE 「子どもと広げる読書の世界」 第1回:「子どもが本好きになる 読書環境をつくろう！」講師:白坂洋一さん	166名参加	web配信
8月5日	BOOK EXPO 2025 第2回実行委員会		Zoom会議
8月20日	JPICミライアカデミー 記者発表会		出版クラブホール +web配信
8月22日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
8月24日	JPIC読みきかせサポーター講習会 学びを深める編 in 東京 特別講師:浜田桂子さん	112名参加	出版クラブホール
8月27日	本だなプロジェクト 本棚送付	30施設	

月 日	事 業・活 動	参加者数	場 所・会 場
8月29日	マンガ感想文コンクール2025 第2回実行委員会		Zoom会議
8月30日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第1回スクーリング①	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
8月31日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第1回スクーリング②	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
9月8日	『この本読んで！』第96号(2025年秋号)発行		
9月18日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
9月9日	BOOK EXPO 2025 第3回実行委員会		Zoom会議
9月13日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第48回 ガイド役:安富ゆかりさん	308名参加	web配信
9月29日	第58回 造本装幀コンクール授賞式	135名参加	出版クラブホール

2025年度 JPIC活動スケジュール（下期/赤字：web配信イベント）

月 日	事 業・活 動	参加者数	場 所・会 場
10月1日	BOOK MEETS NEXT in KOBE（～11月20日）		
10月1日	動画「やってみよう読みきかせ」 東京会場参加者 視聴開始	70名参加	web配信
10月2日	スミセイおはなしひろば 滋賀県全域 実施（～11月5日）	35園参加	
10月3日	BOOK MEETS NEXT 2025記者発表会		出版クラブホール +web配信
10月4日	『この本読んで！』ONLINE「子どもと広げる読書の世界」 第2回:「教科書から広がる 子どもの読書の世界」 講師:白坂洋一さん	199名参加	web配信
10月8日	第十四回書店大商談会 第2回実行委員会		Zoom会議
10月20日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
10月24日	秋の読書推進月間 BOOK MEETS NEXT 2025オープニングイベント	381名参加	紀伊國屋ホール
10月25日	BOOK MEETS NEXT 2025キャンペーン（～11月23日）		
10月25日	TOKYO BOOK NIGHT（～11月23日）		東京都内各所
10月27日	BOOK EXPO 2025 第4回実行委員会		大阪 JTBパブリッシング西日本支 社会議室
11月1日	BOOK MEETS NEXT in ひろしま		ミナモト屋上 ソラモア広場
11月1日	BOOK MEETS NEXT in OSAKA（～12月31日）		
11月1日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第2回スクーリング③	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
11月1日	動画「やってみよう読みきかせ」 大阪会場参加者 視聴開始	20名参加	web配信
11月1日～2日	まちなかアンティークマーケット&ブックストリート		愛知 豊橋市まちなか広場
11月2日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第2回スクーリング④	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
11月2日～3日	YAMADOKU BOOK FEST.2025		山梨 やまなしプラザ
11月4日	第十四回書店大商談会	880名参加	東京ドーム プリズムホール
11月5日	スミセイおはなしひろば 町田市周辺地域 実施（～11月28日）	34園参加	
11月5日～6日	東京著作権説明会事業(TOKYO RIGHTS MEETING)	出展108社、参加国19カ 国182社、2日間で延べ 約1,450名参加	東京ドーム プリズムホール
11月5日	クリエイター等育成プログラム(マンガ分野) 事業(Manga International network Team <MINT> 中間報 告会)	59名参加	東京ドーム プリズムホール
11月8日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第49回 ガイド役:安富ゆかりさん	285名参加	web配信
11月8日～9日	KYOTO BOOK PARK		京都 梅小路公園七条入り口広場
11月9日	いばらき読書フェスティバル	8,841名参加	茨城 茨城県立図書館
11月10日	『はたちの20冊』山口県田布施町出張授業 講師:柔道家角田夏実さん	403名参加	山口県田布施町立田 布施中学校
11月11日	BOOK EXPO 2025	1,273名参加	大阪 コングレコンベン ションセンター
11月17日	上野の森 親子ブックフェスタ 2026 第1回運営委員会		JPIC会議室
11月18日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
11月28日	『本』と『声』2025 IN 東京		科学技術館サイエン スホール+web配信
11月30日	動画で学ぶはじめての読みきかせ 東京会場実技講座	27名参加	家の光レインボービル
12月5日	動画で学ぶはじめての読みきかせ 石川会場実技講座	16名参加	石川県羽咋市立巴知 中学校
12月7日	JPIC読みきかせサポーター講習会 基礎編 in 川崎 講師:スギヤマカナヨさん	102名参加	ステーションコンファ レンス川崎会議室

月 日	事業・活動	参加者数	場 所・会 場
12月8日	『この本読んで！』第97号(2025年冬号)発行		
12月12日	第91回 評議員会 第140回 理事会		出版クラブ会議室 +web配信
12月19日	上野の森 親子ブックフェスタ 2026 出展者説明会		web配信
12月19日	『はたちの20冊』神奈川県横浜市出張授業 講師:朝井リョウさん	参加者52名	神奈川 横浜市立中央図書館
12月23日	「この本読んで！」ONLINE 「子ども！大人も！ 岩波少年文庫を楽しもう」(視聴期間～1月23日)	208名参加	web配信
1月9日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in田原市 書店と図書館の合同研修会	55名参加	愛知 田原文化会館
1月10日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第50回 ガイド役:安富ゆかりさん	388名参加	web配信
1月12～13日	『はたちの20冊』各自治体成人式で配布	6自治体 総配布数 26,600冊	
1月16日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
1月22日	日本文学における共感と日本への関心 ～作家 柚木麻子×翻訳家 ポリー・パートンによる対談～	一部78名 二部186名	神田明神ホール
1月23日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in長野 書店と図書館の合同研修会／記念講演	研修会70名参加 記念講演50名参加	長野 長野県立長野図書館
1月24日	動画で学ぶはじめての読みきかせ JPIC読書アドバイザー32期生実技講座	39名参加	出版クラブホール・ 会議室
1月24日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第3回スクーリング⑤	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
1月25日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第3回スクーリング⑥	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
1月25日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in田原市 記念講演	220名参加	愛知 田原文化会館
1月30日	マンガ感想文コンクール2025 最終審査会	審査員6名	KADOKAWA会議室
1月31日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in都城 書店と図書館の合同研修会	30名参加	宮崎 メインホテル
2月1日	動画で学ぶはじめての読みきかせ 大阪会場実技講座	17名参加	大阪産業創造館
2月1日	笠原将弘エッセイ『うまい旅』発売記念対談笠原将弘×コウケンテツ「乾杯！ 僕らの“うまい旅”」	54名参加	廣瀬興兵商店
2月7日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in熊本 書店と図書館の合同研修会／記念講演	研修会24名参加 記念講演140名参加	熊本 熊本市立図書館
2月8日	書店と図書館がつなぐ未来の読者in都城 記念講演	35名参加	宮崎 都城市立図書館
2月10日	BOOK EXPO 2025 第5回実行委員会		小学館PS 会議室
2月16日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
2月19日	動画で学ぶはじめての読みきかせ 飯館村実技講座	10名参加	福島 飯館村交流セ ンター「ふれ愛館」
2月21日～23日	読(よみ)の市		都立明治公園
3月2日	上野の森 親子ブックフェスタ 2026 物流説明会		web配信
3月5日	『この本読んで！』第98号(2026年春号)発行		
3月7日	『この本読んで！』ONLINE 絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」第51回 ガイド役:安富ゆかりさん	415名参加	web配信
3月10日～12日	未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業 LONDON BOOK FAIR		Olympia London
3月14日	未来のトップアーティスト等の国際的活動支援事業 Manchester Literature Festival		Manchester Central Library
3月13日	マンガ感想文コンクール2025 編集部ツアー(コンクール受賞者対象)		KADOKAWA
3月14日	マンガ感想文コンクール2025 授賞式		出版クラブホール
3月16日	絵本・日本プロジェクト会議		JPIC会議室
3月19日	動画で学ぶはじめての読みきかせ JA大阪中河内実技講座	7名参加	JA大阪中河内
3月23日	第92回 評議員会 第141回 理事会		出版クラブ会議室 +web配信

月 日	事 業・活 動	参加者数	場 所・会 場
3月26日	『飼い犬に腹を噛まれる』刊行記念 彬子女王殿下×名久井直子さん スペシャルトークイベント	65名参加	麻布台ヒルズ パークラウンジ
3月27日	マンガ感想文コンクール2026 第1回実行委員会		Zoom会議
3月28日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第4回スクーリング⑦	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール
3月29日	第32期 JPIC読書アドバイザー養成講座 第4回スクーリング⑧ 修了式	受講生115名 年間聴講生2名	出版クラブホール

一般財団法人 出版文化産業振興財団 理事・監事

理 事 長	近 藤 敏 貴（トーハン会長） ※代表理事
副理事長	奥 村 景 二（日本出版取次協会副会長、日本出版販売社長）
副理事長	小 野 寺 優（日本書籍出版協会理事長、河出書房新社社長）
副理事長	宮 原 博 昭（日本雑誌協会理事長、学研ホールディングス社長）
副理事長	矢 幡 秀 治（日本書店商業組合連合会会長、東京都、真光書店）
専務理事	松 木 修 一（事務局） ※業務執行理事
常務理事	金 田 徹（事務局） ※業務執行理事
理 事	安 部 順 一（中央公論新社社長）
理 事	相 賀 信 宏（小学館社長）
理 事	亀 井 崇 雄（三省堂書店社長）
理 事	高 井 昌 史（紀伊國屋書店会長）
理 事	夏 野 剛（KADOKAWA 社長）
理 事	野 間 省 伸（講談社社長）
理 事	廣 野 眞 一（集英社社長）
理 事	松 信 裕（有隣堂会長）

以上 15 名

監 事	桶 田 大 介（弁護士）
監 事	能 勢 正 幸（公認会計士）
監 事	平 井 茂（日本図書普及社長）

以上 3名

並びは、個人名五十音順

2026 年 3 月 31 日現在

一般財団法人 出版文化産業振興財団 評議員

評 議 員	飯 窪 成 幸（文藝春秋社長）
評 議 員	大 垣 守 弘（大垣書店会長）
評 議 員	岡 沢 宏 和（TOPPAN クロレ社長）
評 議 員	奥 野 康 作（ブックエース社長）
評 議 員	烏 山 公 夫（光文社副社長）
評 議 員	川 村 興 市（楽天ブックスネットワーク社長）
評 議 員	北 島 義 斉（大日本印刷社長）
評 議 員	佐 藤 隆 信（新潮社社長）
評 議 員	鉄 尾 周 一（マガジンハウス社長）
評 議 員	橋 本 博 文（丸善 CHI ホールディングス会長）
評 議 員	春 井 宏 之（日書連副会長、愛知県、正文館書店）
評 議 員	山 本 憲 央（中央経済社ホールディングス社長）

以上 12 名

並びは、個人名五十音順

2026 年 3 月 31 日現在

2025年度賛助会員(254社)

2026年3月31日現在

出版社

あかね書房	好学社	実業之日本社	中央経済社ホールディングス
秋田書店	恒星社厚生閣	実務教育出版	中央公論新社
朝倉書店	佼成出版社	じほう	中日新聞社広告局
朝日新聞出版	講談社	神宮館	汐文社
明日香出版	交通新聞社	鈴木出版	東京書籍
飛鳥新社	光文社	スターツ出版	東京創元社
あすなろ書房	弘文堂	すばる舎	東京大学出版会
アリス館	国土社	星雲社	東洋経済新報社
家の光協会	コスミック出版	聖教新聞社	徳間書店
池田書店	小峰書店	静山社	童心社
医歯薬出版	ゴルフダイジェスト社	青春出版社	ドレミ楽譜出版社
一迅社	さ・え・ら書房	西東社	南江堂
今人舎	作品社	成美堂出版	南山堂
岩崎書店	産業図書	聖パウロ女子修道会	二玄社
岩波書店	三オブックス	誠文堂新光社	西村書店
インプレスホールディングス	三修社	世界思想社教学社	日経 BP
WAVE 出版	三省堂	世界文化ホールディングス	日本ヴォーグ社
潮出版社	サンマーク出版	創元社	日本実業出版社
NHK 出版	産労総合研究所出版部経営書院	草思社	日本スポーツ企画出版社
旺文社	集英社	増進堂・受験研究社	日本能率協会マネジメントセンター
宙出版	出版ワークス	TAC 出版事業部	日本文芸社
オーム社	主婦と生活社	大修館書店	農山漁村文化協会
KADOKAWA	主婦の友社	大洋図書	白水社
化学同人	小学館	高橋書店	白泉社
風間書房	小学館集英社プロダクション	宝島社	博文館新社
角川春樹事務所	彰国社	工パブリック	博友社
金子書房	祥伝社	竹書房	PHP 研究所
河出書房新社	少年画報社	辰巳出版	ひかりのくに
かんき出版	少年写真新聞社	玉川大学出版部	ひさかたチャイルド
学研ホールディングス	昭文社	淡交社	日之出出版
共立出版	晶文社	第三文明社	評論社
金星堂	新興出版社啓林館	大日本絵画	ビーエル出版
金の星社	新書館	大日本図書	白夜書房
くもん出版	新星出版社	ダイヤモンド社	ぴあ
建帛社	新潮社	大洋図書	フォレスト出版
幻冬舎	晋遊舎	大和書房	福音館書店
コアミックス	JTB パブリッシング	筑摩書房	富山房
	ジェイ・リサーチ出版	チャイルド本社	扶桑社

双葉社
 二見書房
 フレックスコミックス
 フレーベル館
 ブロンズ新社
 プレジデント社
 文英堂
 文化学園文化出版局
 ぶんか社
 文響社
 文溪堂
 文芸社
 文藝春秋
 文理
 平凡社
 ベースボール・マガジン社
 ベレ出版
 芳文社
 法律文化社
 ほるぷ出版
 ポプラ社
 マガジンハウス
 三笠書房
 みすず書房
 光村教育図書
 ミネルヴァ書房
 モーターマガジン社
 山川出版社
 有斐閣
 吉川弘文館
 リイド社
 リクルート
 理論社
 ワン・パブリッシング
 (出版社 185 社)

取次会社

協和出版販売
 中央社
 東京即売
 トーハン
 日教販
 日本出版販売
 日本出版貿易
 博文社

メディアドゥ
 楽天ブックスネットワーク
 (取次会社 10 社)

書店

今井書店グループ
 大垣書店
 紀伊國屋書店
 金港堂
 三省堂書店
 須原屋
 八文字屋
 ブックエース
 丸善ＣＨＩホールディングス
 有隣堂
 (書店 10 社)

書店組合

愛知県書店商業組合
 茨城県書店商業組合
 岩手県書店商業組合
 愛媛県書店商業組合
 大阪府書店商業組合
 沖縄県書店商業組合
 神奈川県書店商業組合
 京都府書店商業組合
 群馬県書店商業組合
 埼玉県書店商業組合
 滋賀県書店商業組合
 兵庫県書店商業組合
 広島県書店商業組合
 北海道書店商業組合
 宮城県書店商業組合
 (書店組合 15 組合)

教科書供給所

北海道教科書供給所
 群馬県教科書販売
 神奈川県教科書販売
 (教科書供給 3 社)

一般

インタージェテクノスフィア
 オー・アイ・エム・センター
 活字文化推進会議

カンダコーポレーション
 共同印刷
 共立速記印刷
 光陽メディア
 光和コンピューター
 出版共同流通
 大日本印刷
 手島梱包輸送
 天龍運輸
 電通
 トーハン従業員組合
 凸版印刷
 日販テクシード
 日販ビジネスパートナーズ
 日本アド
 日本出版販売労働組合
 日本図書普及
 博報堂
 藤川紙業
 文化産業信用組合
 三井住友銀行神田法人営業第一部
 三菱UFJ 銀行神田支社
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券神田法人部
 八木書店
 (一般 27 社)

関係団体

出版健康保険組合
 日本児童図書出版協会
 日本出版取次協会
 日本書店商業組合連合会
 (関係団体 4 団体)

以上、254 社/団体/組合

(業種別内訳)

出版社	185 社
取次会社	10 社
書店	10 社
書店組合	15 組合
教科書供給	3 社
一般	27 社
関係団体	4 団体

2025年度一般書店賛助会員(206社)

2026年3月31日現在

北海道・東北

(北海道)

オカモト
神田書店
ダイヤ書房
広瀬書店
フジヤ書店
マルイゲタ
マル五中尾書店

(青森県)

伊吉書院
よしのや本間

(岩手県)

マルカン

(宮城県)

朝野堂
ボックスなにわ
ヤマト屋書店

(山形県)

こまつ書店

(福島県)

岩瀬書店
郡山書店
レオクラブインターナショナル

関東

(茨城県)

アキヤマ書店

(栃木県)

進賢堂販売

(群馬県)

煥乎堂

(埼玉県)

川島書店

小石川書店

ならいち

(千葉県)

三友社書店
ときわ書房
福岡書店

堀江良文堂書店

(東京都)

駅前の本屋 誠心
NIC リテールズ
鳳書院
甲文堂書店
スーパーブックス
大盛堂書店
ダイワビーアンドジー
ティーブックセラーズ
東京旭屋書店
東京堂
東西哲学書院
虎ノ門書房
はた書店
春うらかな書房
フジライフ
ブックセンター滝山グループ
八重洲ブックセンター

(神奈川県)

井上鋼材
北野書店
サクラ書店
島森書店
豊元書店
中村書店
ミクニ書店

甲信越

(新潟県)

遠藤書店
ひらせいトータルインテリアハウス
丸末書店

(山梨県)

天野書店
清文堂書店
卓示書店
宮川春光堂本店
柳正堂書店

(長野県)

今井書店
笠原書店
興文堂
すぐじ
中島書店
西沢書店
平安堂

北陸・東海

(富山県)

五島書店
精文館書店
清明堂書店
文苑堂書店

本の夢屋

山谷書店

(石川県)

うつのみや

(福井県)

勝木書店
カドヤ書店
高橋尚文堂

広比書店

藤田書店

(岐阜県)

青原堂

東文堂本店

ブックスアイオー

林文堂

(静岡県)

島田書店

藤枝江崎書店

マルサン書店

吉見書店

(愛知県)

アイテック

英好堂書店

学校良品

活人堂

近藤商店

三洋堂ホールディングス

春広堂書店

新進

青雲堂書店

正文館書店 (岡崎市)

正文館書店 (名古屋市)

精文館書店

ちくさ正文館

南泉堂書店

日新堂書店

福文堂

文昌堂

豊川堂

(三重県)

井筒屋書店あかもん店

金青堂書店

重盛書店

新光堂書店

別所書店

関西

(滋賀県)

石岡教文堂

サンミュージック

ダイレクト・ショップ

田中誠文堂

扶桑書店

文平堂

(京都府)

犬石商店

井上文鴻堂

カスガ東林書房

川勝書店

久栄堂

福島文進堂

文京堂書店

萬年堂

村田舞鶴堂

山城書店

若林書店

(大阪府)

エムシーアイ

オー・エンターテインメント

関西大学生協同組合

栗林書房

けやき書店

虎谷誠々堂書店

福島書店

ブックスふかだ

ブックファースト

フミヤ書店

松原書店

みやび書店

(兵庫県)

井戸書店

うかいや

巖松堂

キクヤ図書販売

三和書房外商部

神陵文庫

すみ孫書店

大和堂書店

安井書店

(奈良県)

啓林堂書店

たつみ書店

(和歌山県)

宇治書店

多屋孫書店

中国・四国

(鳥取県)

さくらや

杉島書店

(島根県)

トイボックス

(岡山県)

愛文社書店

片岡書店

全泰通商

広谷屋

山田快進堂

(広島県)

金正堂

啓文社

廣文館

総商さとう

双人社書店

中国堂書店

広島積善館

古川書店

(山口県)

佐々木書店

(徳島県)

井上書房

田中宋栄堂

平惣

ペンシル倶楽部

港興業

若葉書房

渡部書店

(香川県)

熊野書店

宮脇書店

(愛媛県)

篠崎書店

明屋書店

(高知県)

金高堂書店

富士書房

(沖縄県)

大城書店

山田書店

九州・沖縄

(福岡県)

金山堂

きんぶん図書

白石書店

中尾書店

福岡金文堂

ブックイン金進堂

(長崎県)

好文堂書店

METRO PLUS

(熊本県)

青柳書店

長崎書店

宮崎一心堂

宮崎商店

(大分県)

晃星堂書店

三光堂書店

都久屋

(宮崎県)

岩切書店

田中書店（宮崎市）

田中書店（都城市）

都城金海堂

(鹿児島県)

石井書店

金海堂

ブックセンターめいわ

2025年度収支報告書及び財産目録

貸借対照表

2026年3月31日現在

(第35期)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	565,352	1,204,890	△ 639,538
普 通 預 金	230,638,082	153,474,482	77,163,600
郵 便 振 替	1,180,584	3,761,732	△ 2,581,148
未 収 金	118,615,775	45,992,038	72,623,737
前 払 金	1,842,739	2,182,742	△ 340,003
立 替 金	0	608,179	△ 608,179
流 動 資 産 合 計	352,842,532	207,224,063	145,618,469
2 基 本 財 産			
基本財産有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基 本 財 産 合 計	300,000,000	300,000,000	0
3 特 定 資 産			
退職給付特定資産	12,459,000	13,604,514	△ 1,145,514
積立特定資産	46,244,303	44,211,311	2,032,992
アドバイザーテキスト制作特定資産	6,001,644	4,000,000	2,001,644
業界課題特定資産	40,242,659	40,211,311	31,348
特 定 資 産 合 計	58,703,303	57,815,825	887,478
4 その他固定資産			
電 話 加 入 権	20,000	20,000	0
借 室 ・ 敷 金 保 証 金	9,636,640	9,636,640	0
保 証 金	200,000	200,000	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	9,856,640	9,856,640	0
固 定 資 産 合 計	368,559,943	367,672,465	887,478
資 産 合 計	721,402,475	574,896,528	146,505,947
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	178,856,010	32,073,316	146,782,694
前 受 金	4,714,380	6,121,500	△ 1,407,120
預 り 金	643,461	1,140,183	△ 496,722
仮 受 金	360	0	360
流 動 負 債 合 計	184,214,211	39,334,999	144,879,212
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	12,459,000	13,604,514	△ 1,145,514
アドバイザーテキスト制作引当金	6,000,000	4,000,000	2,000,000
業界課題引当金	40,211,311	40,211,311	0
固 定 負 債 合 計	58,670,311	57,815,825	854,486
負 債 合 計	242,884,522	97,150,824	145,733,698
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
基本財産特定定期預金	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産合計	300,000,000	300,000,000	0
2 一 般 正 味 財 産	178,517,953	177,745,704	772,249
正 味 財 産 合 計	478,517,953	477,745,704	772,249
負債及び正味財産合計	721,402,475	574,896,528	146,505,947

正味財産増減計算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで

(第35期)

(単位 円)

科	目	当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
(1)	経 常 収 益			
	基本財産運用益	1,291,194	1,094,048	197,146
	モルガンスタンレーUFJ基本財産受取収益	990,816	990,816	0
	三井住友信託銀行基本財産受取収益	300,378	103,232	197,146
	特定資産運用益	82,530	24,495	58,035
	特定資産受取利息	82,530	24,495	58,035
	受 取 入 会 費	10,000	20,000	△ 10,000
	賛助会員受取入会費	10,000	20,000	△ 10,000
	受 取 会 費	51,464,000	50,653,000	811,000
	賛助会員受取会費	51,464,000	50,653,000	811,000
	事 業 収 益	505,098,930	505,453,175	△ 354,245
	生涯学習事業収益	9,914,600	9,741,419	173,181
	読書アドバイザー養成講座助成金収益	700,000	700,000	0
	読書アドバイザー養成講座受講料収益	7,098,020	6,719,820	378,200
	読みきかせ講習会受講料収益	916,580	1,159,894	△ 243,314
	読書アプローチ事業収入	1,200,000	1,106,325	93,675
	JPIC ONLINE事業収益	0	55,380	△ 55,380
	調査研究事業収益	59,245,515	66,914,683	△ 7,669,168
	店頭活性化取組収益	19,388,140	20,320,612	△ 932,472
	業界課題解決のための調査・研究収益	39,692,375	46,437,071	△ 6,744,696
	e-ラーニング	165,000	157,000	8,000
	情報提供事業収益	25,617,091	27,129,410	△ 1,512,319
	機関誌購読料収益	25,617,091	27,129,410	△ 1,512,319
	交流協力事業収益	19,581,524	22,256,917	△ 2,675,393
	地域読書環境整備事業収益	113,850	1,276,843	△ 1,162,993
	マンガ感想文コンクール収益	15,951,000	17,600,000	△ 1,649,000
	書店大商談会受託事業収益	1,682,000	1,673,060	8,940
	はたちの20冊事業収益	319,605	353,474	△ 33,869
	本だなプロジェクト	951,870	872,400	79,470
	上野の森親子フェスタ事業収益	563,199	481,140	82,059
	受託事業・業務協力事業収入	30,176,286	12,096,501	18,079,785
	公共事業	18,057,712	0	18,057,712
	住友生命受託事業収益	5,807,560	6,420,920	△ 613,360
	造本コンクール受託事業収益	1,250,000	1,050,000	200,000
	「お気に入りの一冊をあなたに」協力収益	5,061,014	4,625,581	435,433
	出版コンテンツの海外発信事業収益	360,563,914	367,314,245	△ 6,750,331
	内閣府翻訳出版事業	12,595,000	14,340,090	△ 1,745,090
	国際問題研究所翻訳出版事業収益	45,659,368	38,247,314	7,412,054
	READ JAPAN PROJECT収益	210,003,646	225,837,065	△ 15,833,419
	販売・権利許諾事業収益	4,563,500	5,221,384	△ 657,884
	版權関連事業	16,670,445	7,630,803	9,039,642
	受託事業益	71,071,955	76,037,589	△ 4,965,634
	受取補助金等	23,922,337	35,079,489	△ 11,157,152
	受取特殊行政法人助成金等	23,922,337	35,079,489	△ 11,157,152
	受取寄付金	4,920,000	3,910,000	1,010,000
	会員受取寄付金	4,920,000	3,910,000	1,010,000
	雑 収 益	9,208,070	136,312	9,071,758
	受取利息	208,392	67,486	140,906
	雑 収 益	8,999,678	68,826	8,930,852
	経 常 収 益 計	595,997,061	596,370,519	△ 373,458

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
(2) 経 常 費 用			
事 業 費	586,562,918	589,430,821	△ 2,867,903
生涯学習事業費	35,835,968	40,132,448	△ 4,296,480
読書アドバイザーテキスト制作費	2,000,000	2,000,000	0
読書アドバイザー養成講座運営事業費	11,164,433	11,069,503	94,930
JRAC関係事業費	1,183,148	1,044,977	138,171
読みきかせサポート講習会事業費	6,950,122	7,582,309	△ 632,187
読書アプローチ事業費	484,519	388,360	96,159
JPIC ONLINE事業費	0	2,887,772	△ 2,887,772
管理費関係生涯学習事業費	14,053,746	15,159,527	△ 1,105,781
調査研究事業費	111,256,045	122,689,165	△ 11,433,120
店頭活性化事業費	41,806,441	47,843,390	△ 6,036,949
出版業界諸課題対策事業費	52,959,999	59,213,539	△ 6,253,540
e-ラーニング事業費	4,844,320	3,448,386	1,395,934
社会貢献事業費	1,127,563	819,180	308,383
管理費関係調査研究事業費	10,517,722	11,364,670	△ 846,948
情報提供事業費	36,559,563	46,515,102	△ 9,955,539
ホームページ運用費	2,299,386	2,272,886	26,500
機関誌制作発送費	30,047,277	39,694,570	△ 9,647,293
管理費関係情報提供事業費	4,212,900	4,547,646	△ 334,746
交流協力事業費	35,047,930	41,702,014	△ 6,654,084
地域読書環境整備事業費	2,269,348	2,916,978	△ 647,630
マンガ感想文コンクール事業費	17,289,238	19,839,224	△ 2,549,986
書店大商談会事業費	430,750	402,802	27,948
はたちの20冊協力事業費	2,382,595	3,783,959	△ 1,401,364
本だなプロジェクト事業費	3,617,934	4,207,676	△ 589,742
上野の森親子フェスタ事業費	1,318,875	2,208,939	△ 890,064
管理費関係交流協力事業費	7,739,190	8,342,436	△ 603,246
受託事業・業務協力事業費	35,470,512	17,656,077	17,814,435
公共事業費	16,336,861	0	16,336,861
住友生命受託事業費	4,825,873	4,236,392	589,481
造本装幀コンクール受託事業費	2,232,787	2,764,480	△ 531,693
「お気に入りの一冊をあなたに」事業費	5,190,518	4,589,625	600,893
読書普及協力事業費	1,267,198	1,980	1,265,218
管理費受託事業費	5,617,275	6,063,600	△ 446,325
出版コンテンツの海外発信事業	332,392,900	320,736,015	11,656,885
内閣府翻訳出版事業	5,081,242	6,068,163	△ 986,921
国際問題研究所翻訳出版事業費	23,859,859	40,626,025	△ 16,766,166
READ JAPAN PROJECT 事業費	199,341,852	206,357,712	△ 7,015,860
販売・権利許諾事業費	7,123,253	5,316,978	1,806,275
版權関連事業費	21,036,458	13,010,996	8,025,462
受託事業	55,072,210	26,615,524	28,456,686
管理費出版コンテンツ事業費	20,878,026	22,740,617	△ 1,862,591
管 理 費	8,661,894	9,125,551	△ 463,657
給 料 手 当	2,831,731	2,548,256	283,475
役員報酬	1,485,000	1,341,625	143,375
給料手当・賞与	1,292,640	1,169,880	122,760
役職員通勤交通費	54,091	36,751	17,340
退職給付費用	242,041	190,000	52,041
福利厚生費	276,017	211,295	64,722
会 議 費	15,801	22,793	△ 6,992
理事会費・総会費	15,801	22,793	△ 6,992
旅費交通費	3,412	4,995	△ 1,583
通信運搬費	136,168	237,293	△ 101,125
消耗備品費	134,797	149,433	△ 14,636
消耗什器備品費	90,635	144,231	△ 53,596
事務用品費	38,362	5,202	33,160
修繕費	5,800	0	5,800

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	166,644	223,712	△ 57,068
新聞図書費	19,700	17,718	1,982
光熱水料費	140,137	135,862	4,275
賃 借 料	1,517,688	1,517,688	0
事務室他賃借料	1,239,636	1,239,636	0
事務室他共益費	278,052	278,052	0
リース料	234,264	226,629	7,635
支払手数料	374,053	1,684,591	△ 1,310,538
振込手数料	65,078	50,932	14,146
その他手数料	308,975	1,633,659	△ 1,324,684
租 税 公 課	1,026,520	1,503,660	△ 477,140
消 費 税	1,019,140	1,487,650	△ 468,510
法人都民税	7,000	7,000	0
収入印紙税	380	1,795	△ 1,415
国税・地方税	0	7,215	△ 7,215
文字活字文化推進機構会費	100,000	100,000	0
研修費	0	17,400	△ 17,400
雑 費	1,442,921	334,226	1,108,695
経 常 費 用 計	595,224,812	598,556,372	△ 3,331,560
経常費用計			
当期経常増減額	772,249	△ 2,185,853	2,958,102
2 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
予 備 費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	772,249	△ 2,185,853	2,958,102
一般正味財産期首残高	177,745,704	179,931,557	△ 2,185,853
一般正味財産期末残高	178,517,953	177,745,704	772,249
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	478,517,953	477,745,704	772,249

財 産 目 録

2026年3月31日現在

(第35期)

(単位 円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金	現金手許有高	565,352		
普通預金	みずほ銀行九段支店	181,314,002		
普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店	13,651,229		
普通預金	三菱東京UFJ銀行神田支店	14,596,694		
普通預金	三井住友銀行神田支店	1,501,667		
普通預金	りそな銀行九段支店	730,505		
普通預金	文化産業信用組合本店	18,843,985		
郵便振替	ゆうちょ銀行	1,180,584		
未収金	BOOK MEETS NEXT協賛金ほか	118,615,775		
前払金	共同ビル事務所賃借料ほか	1,842,739		
流動資産合計			352,842,532	
2 固定資産				
基本財産引当額				
有価証券	東京電力パワーグリッド社債	100,000,000		
	東京電力パワーグリッド社債	100,000,000		
	三井住友信託銀行 合同運用指定金銭信託	100,000,000		
基本財産合計			300,000,000	
特定資産				
退職給付引当資産	文化産業信用組合本店	9,309,000		
退職給付引当資産	みずほ銀行九段支店	3,150,000		
アドバイザーテキスト制作	文化産業信用組合本店	6,001,644		
業界課題取り組み準備金	三井住友銀行神田支店	40,242,659		
特定資産合計			58,703,303	
その他の固定資産				
電話加入権		20,000		
借室敷金	一ツ橋ビルマネージメント	9,636,640		
保証金	日販アイ・ピー・エス	200,000		
その他の固定資産合計			9,856,640	
固定資産合計			368,559,943	
資 産 合 計				721,402,475
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	海外発信(MINT)事業費ほか	178,856,010		
未払金合計		178,856,010		
前受金		4,714,380		
預り金	役職員等の所得税・住民税	643,461		
仮受金		360		
流動負債合計			184,214,211	
2 固定負債				
退職給付引当金		12,459,000		
アドバイザーテキスト制作引当金		6,000,000		
業界課題引当金		40,211,311		
固定負債合計			58,670,311	
負 債 合 計				242,884,522
正 味 財 産				478,517,953

収支計算書

2025年4月1日から 2026年3月31日まで
(第35期)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	率(%)
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,200,000	1,291,194	91,194	107.6
基本財産運用利息	1,200,000	1,291,194	91,194	
特定資産運用益	50,000	43,112	△ 6,888	86.2
特定資産受取利息	50,000	43,112	△ 6,888	
受取入会金	200,000	10,000	△ 190,000	5.0
賛助会員受取入会金	200,000	10,000	△ 190,000	
受取会費収入	56,300,000	51,464,000	△ 4,836,000	91.4
賛助会員受取会費	50,300,000	48,500,000	△ 1,800,000	
書店一般会員会費	6,000,000	2,964,000	△ 3,036,000	
事業収入	501,998,000	505,098,930	3,100,930	100.6
生涯学習事業収入	8,810,000	9,914,600	1,104,600	112.5
読書アドバイザー養成講座助成金収入	700,000	700,000	0	
読書アドバイザー養成講座受講料収入	6,280,000	7,098,020	818,020	
読みきかせサポート講習会参加費収入	830,000	916,580	86,580	
読書アプローチ事業収入	1,000,000	1,200,000	200,000	
調査研究事業収入	76,100,000	59,245,515	△ 16,854,485	77.9
店頭活性化取組収入	22,000,000	19,388,140	△ 2,611,860	
業界課題解決のための調査・研究収入	39,600,000	39,692,375	92,375	
e-ラーニング事業収益	4,500,000	165,000	△ 4,335,000	
社会貢献活動収入	10,000,000	0	△ 10,000,000	
情報提供事業収入	23,980,000	25,617,091	1,637,091	106.8
機関誌購読料収入	23,980,000	25,617,091	1,637,091	
交流協力事業収入	21,374,000	19,581,524	△ 1,792,476	91.6
地域読書環境整備事業収入	220,000	113,850	△ 106,150	
マンガ感想文コンクール収入	17,595,000	15,951,000		
書店大商談会受託事業収入	1,760,000	1,682,000	△ 78,000	
はたちの20冊事業収入	379,000	319,605	△ 59,395	
本だなプロジェクト事業収入	930,000	951,870	21,870	
上野の森ブックフェスタ事業収入	490,000	563,199	73,199	
受託業務協力事業収入	15,000,000	30,176,286	15,176,286	201.2
公共事業	—	18,057,712		
住友生命健康財団受託事業収入	5,750,000	5,807,560	57,560	
造本コンクール受託事業収入	1,250,000	1,250,000	0	
「お気に入りの一冊をあなたに」協力収入	7,120,000	5,061,014	△ 2,058,986	
読書普及事業収入	880,000	0	△ 880,000	
出版コンテンツの海外発信事業	356,734,000	360,563,914	3,829,914	101.1
内閣府翻訳出版事業収入	14,212,000	12,595,000	△ 1,617,000	
国際問題研究所翻訳出版事業収入	19,500,000	45,659,368	26,159,368	
READ JAPAN PROJECT収入	258,322,000	210,003,646	△ 48,318,354	
販売・権利許諾事業収入	5,700,000	4,563,500	△ 1,136,500	
版權関連事業収入	14,000,000	16,670,445	2,670,445	
受託事業	45,000,000	71,071,955	26,071,955	
受取補助金等	51,266,000	23,922,337	△ 27,343,663	46.7
受取特殊行政法人助成金等	51,266,000	23,922,337	△ 27,343,663	
受取寄付金	1,500,000	4,920,000	3,420,000	328.0
会員受取寄付金	1,500,000	4,920,000	3,420,000	
雑収入	170,000	9,208,070	9,038,070	5,416.5
運営預金受取利息	1,000	208,392	207,392	
雑 収 入	169,000	8,999,678	8,830,678	
事業活動収入計	612,684,000	595,957,643	△ 16,726,357	97.3

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	率(%)
2 事業活動支出				
事業費支出	631,555,000	583,547,973	△ 48,007,027	92.4
生涯学習事業費支出	38,053,000	33,610,425	△ 4,442,575	88.3
読書アドバイザー養成講座運営事業費支出	12,223,000	11,164,433	△ 1,058,567	
J R A C 関係事業費支出	1,229,000	1,183,148	△ 45,852	
読みきかせサポート事業費支出	9,285,000	6,950,122	△ 2,334,878	
読書アプローチ事業費支出	1,000,000	484,519		
管理費関係分生涯学習事業費支出	14,316,000	13,828,203	△ 487,797	
調査研究事業費支出	133,343,500	111,086,888	△ 22,256,612	83.3
店頭活性化事業費支出	46,871,000	41,806,441	△ 5,064,559	
出版業界諸課題対策事業費支出	60,708,000	52,959,999	△ 7,748,001	
e-ラーニング事業費支出	5,698,000	4,844,320		
社会貢献事業費支出	9,329,000	1,127,563	△ 8,201,437	
管理費関係分調査研究事業費支出	10,737,500	10,348,565	△ 388,935	
情報提供事業費支出	36,840,400	36,491,901	△ 348,499	99.1
ホームページ運用費支出	2,788,000	2,299,386	△ 488,614	
機関誌発行・発送事業費支出	29,758,000	30,047,277	289,277	
管理費関係分情報提供事業費支出	4,294,400	4,145,238	△ 149,162	
交流協力事業費支出	38,856,900	34,923,882	△ 3,933,018	89.9
地域読書環境整備事業費支出	2,309,000	2,269,348	△ 39,652	
マンガ感想文コンクール事業費支出	19,801,000	17,289,238	△ 2,511,762	
書店大商談会受託事業費支出	454,000	430,750	△ 23,250	
はたちの20冊協力事業費支出	3,769,000	2,382,595	△ 1,386,405	
本だなプロジェクト事業費支出	3,308,000	3,617,934	309,934	
上野の森親子フェスタ事業費支出	1,342,000	1,318,875	△ 23,125	
管理費関係分交流協力事業費支出	7,873,900	7,615,142	△ 258,758	
受託業務協力事業費支出	22,308,200	35,380,295	13,072,095	158.6
公共事業受託事業費支出	0	16,336,861	16,336,861	
住友生命受託事業費支出	5,547,000	4,825,873	△ 721,127	
造本コンクール受託事業費支出	2,200,000	2,232,787	32,787	
「お気に入りの一冊をあなたに」事業費支出	7,472,000	5,190,518	△ 2,281,482	
読書普及協力事業費支出	1,363,000	1,267,198	△ 95,802	
管理費関係分受託協力事業費	5,726,200	5,527,058	△ 199,142	
出版コンテンツの海外発信事業支出	362,153,000	332,054,582	△ 30,098,418	91.7
内閣府翻訳出版事業費支出	6,350,000	5,081,242	△ 1,268,758	
国際問題研究所翻訳出版事業費支出	11,240,000	23,859,859	12,619,859	
READ JAPAN PROJECT 事業費支出	249,001,000	199,341,852	△ 49,659,148	
販売・権利許諾事業費支出	4,931,000	7,123,253	2,192,253	
著作権関連事業費支出	19,641,000	21,036,458	1,395,458	
受託事業費支出	49,517,000	55,072,210	5,555,210	
管理費関係分出版コンテンツ事業費支出	21,473,000	20,539,708	△ 933,292	
管理費支出	7,158,000	10,822,353	3,664,353	151.2
給与手当支出	2,464,000	2,831,731	367,731	
役員報酬	1,296,000	1,485,000	189,000	
給料手当・賞与	1,125,000	1,292,640	167,640	
通勤交通費	43,000	54,091	11,091	
退職給付費用	232,500	2,402,500	2,170,000	
福利厚生費支出	122,500	276,017	153,517	
健保厚生保険料・その他福利厚生	122,500	276,017	153,517	
会議費支出	28,000	15,801	△ 12,199	
理事会費・総会費	28,000	15,801	△ 12,199	

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異	率(%)
旅費交通費支出	5,000	3,412	△ 1,588	
旅費交通費	5,000	3,412	△ 1,588	
通信運搬費支出	200,000	136,168	△ 63,832	
郵便料・電話料・運搬費	200,000	136,168	△ 63,832	
消耗品費支出	160,000	134,797	△ 25,203	
消耗什器備品費	50,000	90,635	40,635	
事務用品費	80,000	38,362	△ 41,638	
修繕費	30,000	5,800	△ 24,200	
印刷製本費支出	160,000	166,644	6,644	
コピー機維持費・印刷費	160,000	166,644	6,644	
新聞図書費支出	18,000	19,700	1,700	
新聞図書費	18,000	19,700	1,700	
光熱水料費支出	140,000	140,137	137	
電気料・水道料	140,000	140,137	137	
賃借料支出	1,518,000	1,517,688	△ 312	
賃借料	1,240,000	1,239,636	△ 364	
賃借共益費	278,000	278,052	52	
リース料支出	250,000	234,264	△ 15,736	
事務機他リース料	250,000	234,264	△ 15,736	
支払手数料支出	400,000	374,053	△ 25,947	
振込手数料	41,000	65,078	24,078	
その他手数料	359,000	308,975	△ 50,025	
租税公課支出	1,200,000	1,026,520	△ 173,480	
消費税	1,150,000	1,019,140	△ 130,860	
法人住民税	10,000	7,000	△ 3,000	
収入印紙	5,000	380	△ 4,620	
国税・地方税	35,000		△ 35,000	
文字活字文化推進機構会費支出	100,000	100,000	0	
研修費	10,000	0	△ 10,000	
雑費支出	150,000	1,442,921	1,292,921	
事業活動支出計	638,713,000	594,370,326	△ 44,342,674	93.1
事業活動収支差額	△ 26,029,000	1,587,317	27,616,317	
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
業界課題取り組み準備金取崩収入	0	10,000	10,000	
退職預金取崩収入	2,400,000	2,402,500	2,500	
投資活動収入計	2,400,000	2,412,500	12,500	
2.投資活動支出				
退職給付引当資産取得支出	4,000,000	1,250,560	△ 2,749,440	
アドバイザーテキスト制作引当資産取得支出	0	2,000,000	2,000,000	
投資活動支出計	4,000,000	3,260,560	△ 739,440	
投資活動収支増減額	△ 1,600,000	△ 848,060	751,940	
当期収支差額	△ 27,629,000	739,257	28,368,257	—
前期繰越収支差額	167,889,064	167,889,064	0	
次期繰越収支差額	140,260,064	168,628,321	28,368,257	120.2

財務諸表に対する注記(第35期)

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(2) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外のファイナンス・リース物件については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	13,604,514	1,250,560	2,396,074	12,459,000
積立特定資産	44,211,311	2,032,992	0	46,244,303
小 計	57,815,825	3,283,552	2,396,074	58,703,303
合 計	357,815,825	3,283,552	2,396,074	358,703,303

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	うち指定正味 財産からの充 当額	うち一般正味 財産からの充 当額	うち負債に対 応する額
基本財産				
有価証券	300,000,000	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	12,459,000	0	1,250,560	0
積立特定引当資産	46,244,303	32,992	2,000,000	0
合 計	358,703,303	32,992	3,250,560	0

4 その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

その他固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	20,000	0	20,000
借室敷金	9,636,640	0	9,636,640
保証金	200,000	0	200,000
合 計	9,856,640	0	9,856,640

5 債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権当期末残高
未収金			
賛助会員会費	2,542,000	0	2,542,000
調査研究事業収益	3,362,700	0	3,362,700
情報提供事業収益	1,386,324	0	1,386,324
受託協力事業収益	13,808,786	0	13,808,786
出版コンテンツの海外発信事 業収益	76,168,223	0	76,168,223
文字・活字文化推進機構	444,509	0	444,509
受取特殊行政法人助成金等	20,903,233	0	20,903,233
合 計	118,615,775	0	118,615,775

財務諸表に対する注記(第35期)

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
2025年度 子どもたちを物語の世界へ	国立青少年教育振興機構	0	1,559,374	0	1,559,374	一般正味財産
2025年度 サポーター講習会基礎編	国立青少年教育振興機構	0	839,413	0	839,413	
2025年度 サポーター講習会学びを深める編	国立青少年教育振興機構	0	620,317	0	620,317	
動画で学ぶ はじめての読みきかせ	授業目的公衆送信補償金等管理協会	0	737,312	0	737,312	
BOOK MEETS NEXT 2025	授業目的公衆送信補償金等管理協会	0	20,165,921	0	20,165,921	
合 計		0	23,922,337	0	23,922,337	

※「BOOK MEETS NEXT2024」事業の中に「はたちの20冊」事業、「本だなプロジェクト」事業の補助金を含む

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,291,194
合 計	1,291,194

8 引当金の明細

(単位 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	13,604,514	1,127,716	2,273,230	0	12,459,000
アドバイザーテキスト制作引当金	4,000,000	2,000,000	0	0	6,000,000
業界課題引当金	40,211,311	0	0	0	40,211,311

収支計算書に対する注記(第35期)

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	158,441,104	232,384,018
未 収 金	45,992,038	118,615,775
前 払 金	2,182,742	1,842,739
立 替 金	608,179	0
合 計	207,224,063	352,842,532
未 払 金	32,073,316	178,856,010
前 受 金	6,121,500	4,714,380
預 り 金	1,140,183	643,461
仮 受 金	0	360
合 計	39,334,999	184,214,211
次期繰越収支差額	167,889,064	168,628,321

監査報告

2026年5月21日

一般財団法人出版文化産業振興財団
理事長 近藤敏貴 殿

監 事 桶 田 大 介



監 事 能 勢 正 幸



監 事 平 井 茂



私たち監事は、第35期2025年4月1日から2026年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財産目録、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算関係書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

2026 年度事業計画並びに予算

1. 生涯学習事業

①「JPIC 読書アドバイザー養成講座」第 33 期を開講

本講座は、1993 年の開始以来、「読書」と「生涯学習」を促進する人材の育成を目的として、毎年継続的に開講。今期は 8 月より開講し、カリキュラムの刷新をおこなうとともに、グループディスカッションやワークショップを取り入れることで、受講生間の交流機会の拡充を図っている。また、修了生のうち希望者には聴講の機会を広げ、「学び直し」のニーズにも対応している。さらに、35 期から使用する電子テキストについては、内容の充実と時代に即した構成とするため、改訂に向けた準備を進める予定。

②JRAC の活動協力

「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了者の自主運営組織である「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動をサポートする。第 8 回「親子で読んでほしい絵本大賞」等への協力も実施予定。

③絵本・読みきかせ・子どもの読書に関する各種読書講習会

「JPIC 子どもの読書みらいフォーラム」として、子どもと本に関わるすべての方を対象に、子どもの読書について考え、語り合う 2 日間のフォーラムを開催。子どもの発達段階に応じた本の選び方や手渡し方、ひとり読みへとつなげる力を育む環境づくりについて、多彩な講師陣から学ぶ機会を提供する。これまで 25 年間、550 回以上の「読みきかせサポーター講習会」を開催してきた実績を基に、内容を広げ、子どもと本の出会いに尽力する方々が共に学び、つながる時間を創出する。

2. 調査研究事業

①出版業界諸課題の改善・解決に向け研究・検討

業界横断型組織として、さまざまな業界課題を解決するための調査・研究をおこない、出版業界が団結するための中心的な役割を担う。

「街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟」では、「書店活性化プラン」を中心に具体的な施策の実践をめざす。

「BOOK MEETS NEXT 2026」では、「本との出会い」をテーマに規模を拡大してきたが、その規模を継続して未来へつなぐため、持続可能な仕組みを構築するとともに、書店・出版社だけでなく図書館や地域との連携強化をめざす。

4 月 28 日（火）企画説明会を実施し、秋には記者発表会を予定。

3. 情報提供事業

①JPIC NEWSLETTER

賛助会員および関係各方面に JPIC 活動の報告・案内を目的に、月 1 回程度発行。

②WEB 情報発信ツール（ホームページ・SNS・メールマガジン）

事業の情報提供ツールとして活用。講座やイベント等の申し込みの WEB 化を促進し、幅広い客層に対する利便性の向上をはかる。また、絵本・書籍・読書といった出版文化に関心の高い方へのメールマガジン登録 14,000 件を目標に促進。DM 費の削減、顧客層の拡大をはかる。

③『この本読んで！』発行

季刊（第 99～100 号、6 月・9 月初旬）、約 7,500 部発行予定、100 号にて休刊。「JPIC 子どもの読書みらいフォーラム」での副読本としての使用やオンライン講座との連携のほか、絵本作家の原画展会場などでも販売する。今年度中はバックナンバー含め販売を継続。

4. 交流協力事業

①地域読書環境整備事業

各自治体に「子育て支援・読書推進」をキーワードに協働のアピールをし、要請のある自治体の読書推進をサポートする。包括契約を進め、事業の安定をめざす。

また 20 冊の本を掲載した冊子『はたちの 20 冊』を制作。自治体を通じて配布し若者への読書推進をはかる。さらに採用自治体で講演会を開催する。

読みきかせボランティアの育成に力をいれている自治体で「動画で学ぶはじめてのよみ聞かせ」を実施する。2026 年度はすでに兵庫県神戸市、千葉県旭市での実施が決定。

②「上野の森 親子ブックフェスタ」の開催

2026 年 5 月 4 日～5 日、昨年に続き台東区・上野恩賜公園および周辺施設にて「上野の森 親子ブックフェスタ 2026」が開催された。

イベントテントでは、絵本の読みきかせや音楽と融合したステージイベントなどを開催し、各出展者のブースでも連日多くの作家が訪れ、サイン会やおはなし会などを開催。

会場内ではキャッシュレスを継続しつつ、分散配置していたレジを会場後方に集中させ、販売エリアと会計エリアを分離することで会場内の回遊性が高まる結果となった。

85 社が出展し、絵本・児童書を中心に約 60,000 冊が陳列され、2 日間の売上は前年を上回る約 4,450 万円に上り、延べ約 36,300 人が来場した。子どもの読書推進会議、日本児童図書出版協会との三者共催事業。

③「書店大商談会」への協力

第十五回「書店大商談会」(東京/11月17日予定)、「BOOK EXPO 2026」(大阪/11月10日予定)の事務局運営業務をJPICが受託して「BOOK MEETS NEXT 2026」の連携事業として開催協力をする。

④マンガ感想文コンクール

マンガを通じて子どもたちの感性や表現力の育成を図ることを目的に、全国の小・中・高校生を対象に実施。2026年度は文化庁・44都道府県3市教育委員会の後援名義、および多数のコミック出版社・出版関係団体の協力のもと、7月より募集開始。WEB応募の併用により、更なる規模の拡大をめざす。結果発表・授賞式は2027年3月予定。

⑤本だなプロジェクト

SDGsの「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」の実現にむけて2022年度よりスタート。出版社、本棚会社の協力のもと、子ども食堂や無料塾、フリースクールなどに地元の書店を通じて本を届ける。施設はJPICが制作した動画で読みきかせを学び、おはなし会を継続して開催する。

5. 受託事業・業務等

①各社・団体の読書普及事業への協力

日本出版販売株式会社の書店での読みきかせ会「おはなしマラソン」、本を手渡す人材の育成のための講師派遣など、団体・企業の読書推進事業をサポート。

②「スミセイおはなしひろば」への協力

公益財団法人住友生命健康財団主催。2地域／九州地区(福岡県)、関東地区(埼玉県)の幼稚園・保育園・認定こども園を対象に、各地域35園程度おはなし会を実施する。

③「第59回 造本装幀コンクール」への協力

一般社団法人日本書籍出版協会と一般社団法人日本印刷産業連合会が主催の「第59回造本装幀コンクール」。2025年に初版発行された書籍が対象。169者295点の応募があり、6月3日に審査会を開催した。9月には神保町の出版クラブビル内のホールで授賞式、同ビルライブラリーで全出品作品の公開展示をおこなう。

④「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への協力

公益財団法人博報堂教育財団が 2020 年度に開始した「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」について、第 6 回においても JPIC は選考および入賞作品集の作成に協力し、子どもの読書推進の一翼を担う。

⑤ 文化庁「マンガ分野における産官学連携による人材育成プロジェクト」

昨年度より「令和 7 年度 クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」の「コンテンツ分野における産学官連携による教育機関の機能強化支援（マンガ分野）」を受託。1 年目はマンガ分野全般の人材を育成できるカリキュラムを企画・制作。

2026 年度は支援対象者の募集、カリキュラムの配信を始め、国内研修や海外研修も本格的に開始します。3 年間 3 億円規模

6. 出版コンテンツの海外発信事業

①内閣府 翻訳出版事業への協力

首相官邸国際広報室が実施する「日本の魅力発信に資する書籍の翻訳出版事業」において、2025 年度までに 計 91 作品（JPIC 82 点、海外出版社 9 点）を発行しました。また、既刊本 5 タイトルについてオープンアクセス配信を実施しました。

2026 年度は現在のところ、1 タイトルの刊行する他はオープンアクセス配信を含めて予定はなく、事業はほぼ終了の予定です。

②日本国際問題研究所 翻訳出版事業への協力

外務省の外郭団体である国問研がおこなう翻訳出版事業に協力し、2025 年度までに 計 24 作品（JPIC 23 点、海外出版社 1 点）を発行しました。

2026 年度は現在のところ 2 タイトルの翻訳出版予定があります。

③「READ JAPAN PROJECT」への協力

公益財団法人日本財団助成事業「日本理解促進のための図書寄贈事業」に協力し、日本に関する英文図書を世界各国の図書館へ寄贈する取り組みをおこなっています。本事業は現在、公益財団法人東京財団へ移管されており、JPIC は引き続き希望図書館との調整および寄贈業務の管理を担当しています。2025 年度は、「日本に関する英文図書 354 冊」から、133 機関へ延べ 14,535 冊を寄贈（1 機関あたり平均 109 冊）しました。

2026 年度は寄贈先を 140 機関想定しており、事業の拡大をめざしています。

④著作権関連事業への取り組み

2015年に有志の会としてスタートした東京著作権説明会は、書籍の著作権輸出や翻訳出版に関する商談を行う国際的なイベントとして発展してきました。JPICは2023年より事務局として運営に参加。2025年の開催では2日間で国内外の出版関係者 延べ約1,450名が参加し、過去最大規模を記録しました。2026年は、11月18日（水）・19日（木）／東京ドームシティ プリズムホールにての開催が決定しています。名称を TOKYO INTERNATIONAL RIGHTS MEETING に改め、さらに多くの海外出版社・関係者の参加を促進し、出版界最大級の国際イベントとして一層の発展をめざします。

⑤文化庁「クリエイター等育成プログラム（マンガ分野）」

令和5年度文化庁補正予算により、独立行政法人日本芸術文化振興会が実施する「クリエイター等育成支援事業（マンガ分野）」を受託し、マンガ家・編集者12名による育成対象者の海外進出を支援する取組を進めています。

育成対象者は、国内外の専門家による講義を受講したのち、去年はアメリカ・ロサンゼルス の Anime Expo、コロンバスの Cartoon Crossroads Columbus などのアニメ・コミックイベントに参加しました。

3年目となる2026年度は、下記2拠点への派遣を予定しています。

①アメリカ・ニューヨーク（5月28日～6月2日）

- ・ School of Visual Arts、Society of Illustrators、NY 公共図書館にて、育成対象者と親和性が深い NY 在住のマンガ家・編集者との対談イベントを企画。
- ・ 講談社 USA を訪問し編集者・翻訳者と交流する他、コロンビア大学図書館にてマンガ蔵書等の見学を予定。

②カナダ・トロント（6月3日～6月8日）

- ・ 国際的コミックフェスティバル、Toronto International Comic Festival (TCAF) に出展。出展ブースでは育成対象者のプロモーション冊子、英訳サンプル合本等を配布。
- ・ TCAF 公式ポスター制作アーティストとして、ばったんさん（マンガ家）が抜擢。描きおろしポスターの掲示や関連グッズの展開を実施。
- ・ 各マンガ家・編集者が TCAF でのトークイベントに登壇予定。
- ・ 独立合成法人国際交流基金トロントにて、マンガ家・編集者によるトークイベントを開催。

収 支 予 算 書

2026年4月1日から 2027年3月31日まで

(第36期)

(単位：円)

科	目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	基本財産運用益	1,300,000	1,200,000	100,000
	基本財産運用利息	1,300,000	1,200,000	100,000
	特定資産運用益	100,000	50,000	50,000
	特定資産受取利息	100,000	50,000	50,000
	受取入会金	500,000	200,000	300,000
	賛助会員受取入会金	500,000	200,000	300,000
	受取会費	56,000,000	56,300,000	△ 300,000
	賛助会員受取会費	50,000,000	50,300,000	△ 300,000
	書店一般会員会費	6,000,000	6,000,000	0
	事業収益	620,265,000	501,998,000	118,267,000
	生涯学習事業収益	8,305,000	8,810,000	△ 505,000
	読書アドバイザー養成講座助成金収益	700,000	700,000	0
	読書アドバイザー養成講座受講料収益	6,185,000	6,280,000	△ 95,000
	読みきかせ講習会参加費収益	420,000	830,000	△ 410,000
	読書アプローチ事業収益	1,000,000	1,000,000	0
	調査研究事業収益	63,145,000	76,100,000	△ 12,955,000
	書店店頭活性化事業	21,715,000	22,000,000	△ 285,000
	社会貢献事業収益	1,500,000	10,000,000	△ 8,500,000
	業界活性化事業	39,600,000	39,600,000	0
	eラーニング事業収益	330,000	4,500,000	△ 4,170,000
	情報提供事業収益	13,990,000	23,980,000	△ 9,990,000
	機関誌購読料収益	13,990,000	23,980,000	△ 9,990,000
	交流協力事業収益	19,992,000	21,374,000	△ 1,382,000
	地域読書環境整備事業収益	110,000	220,000	△ 110,000
	はたちの20冊事業収益	300,000	379,000	△ 79,000
	上野の森親子フェスタ事業収益	750,000	490,000	260,000
	書店大商談会受託事業収益	1,702,000	1,760,000	△ 58,000
	マンガ感想文コンクール事業収益	15,950,000	17,595,000	△ 1,645,000
	本だなプロジェクト事業収益	1,180,000	930,000	250,000
	受託業務協力事業収益	123,718,000	15,000,000	108,718,000
	読書普及事業収益	0	880,000	△ 880,000
	住友生命健康財団受託事業収益	6,050,000	5,750,000	300,000
	造本装幀コンクール受託事業収益	1,250,000	1,250,000	0
	博報堂教育財団協力事業収益	5,718,000	7,120,000	△ 1,402,000
	公共事業	110,700,000	0	110,700,000
	出版コンテンツの海外発信事業収益	391,115,000	356,734,000	34,381,000
	内閣府翻訳出版事業収益	6,946,500	14,212,000	△ 7,265,500
	国際問題研究所翻訳出版事業収益	23,138,500	19,500,000	3,638,500
	READ JAPAN PROJECT事業収益	271,814,000	258,322,000	13,492,000
	版權関連事業収益	17,400,000	14,000,000	3,400,000
	販売・権利許諾事業収益	3,500,000	5,700,000	△ 2,200,000
	受託事業収益	68,316,000	45,000,000	23,316,000
	受取補助金等	39,955,000	51,266,000	△ 11,311,000
	受取特殊法人助成金	39,955,000	51,266,000	△ 11,311,000
	受取寄付金	4,900,000	1,500,000	3,400,000
	会員受取寄付金	4,900,000	1,500,000	3,400,000
	雑収益	300,000	170,000	130,000
	受取利息	200,000	70,000	130,000
	雑収益	100,000	100,000	0
	経常収益計	723,320,000	612,684,000	110,636,000

(単位 円)

科	目	予 算 額	前年度予算額	増 減
(2) 経常費用				
事業費		719,565,600	631,555,000	88,010,600
生涯学習事業費		31,767,000	38,053,000	△ 6,286,000
読書アドバイザー養成講座事業費		9,880,100	12,223,000	△ 2,342,900
J R A C 関係事業費		707,600	1,229,000	△ 521,400
読み聞かせサポート事業費		5,608,900	9,285,000	△ 3,676,100
読書アプローチ事業費		1,137,600	1,000,000	137,600
管理費関係分生涯学習事業費		14,432,800	14,316,000	116,800
調査研究事業費		112,397,600	133,343,500	△ 20,945,900
業界諸対策費(BOOK MEETS NEXT) 費		56,932,000	60,708,000	△ 3,776,000
社会貢献事業費		1,840,000	9,329,000	△ 7,489,000
業界活性化事業		41,520,000	46,871,000	△ 5,351,000
e-ラーニング事業費		1,281,000	5,698,000	△ 4,417,000
管理費関係分調査研究事業費		10,824,600	10,737,500	87,100
情報提供事業費		25,760,800	36,840,400	△ 11,079,600
ホームページ運用費		2,793,000	2,788,000	5,000
機関誌発行事業費		19,359,600	29,758,000	△ 10,398,400
管理費関係分情報提供事業費		3,608,200	4,294,400	△ 686,200
交流協力事業費		39,967,100	38,856,900	1,110,200
地域読書環境整備事業費		1,131,800	2,309,000	△ 1,177,200
はたちの20冊事業費		2,887,800	3,769,000	△ 881,200
上野の森親子フェスタ事業費		1,095,000	1,342,000	△ 247,000
書店大商談会受託事業費		908,000	454,000	454,000
マンガ感想文コンクール事業費		23,275,700	19,801,000	3,474,700
本だなプロジェクト事業費		3,452,400	3,308,000	144,400
管理費関係分交流協力事業費		7,216,400	7,873,900	△ 657,500
受託業務協力事業費		124,801,300	22,308,200	102,493,100
読書普及協力事業費		1,819,900	1,363,000	456,900
住友生命健康財団受託事業費		4,905,300	5,547,000	△ 641,700
造本装幀コンクール受託事業費		2,183,500	2,200,000	△ 16,500
博報堂教育財団協力事業費		5,826,200	7,472,000	△ 1,645,800
公共事業		95,633,600	0	95,633,600
管理費関係分交流協力事業費		14,432,800	5,726,200	8,706,600
出版コンテンツの海外発信事業		384,871,800	362,153,000	22,718,800
内閣府翻訳出版事業費		6,905,500	6,350,000	555,500
国際問題研究所翻訳出版事業費		19,255,100	11,240,000	8,015,100
READ JAPAN PROJECT事業費		250,495,400	249,001,000	1,494,400
著作権関連事業費		22,950,300	19,641,000	3,309,300
販売・権利許諾事業費		6,116,700	4,931,000	1,185,700
受託事業費		64,716,000	49,517,000	15,199,000
管理費関係分情報提供事業費		14,432,800	21,473,000	△ 7,040,200

(単位 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	7,216,400	7,158,000	58,400
給与手当	2,450,800	2,464,000	△ 13,200
役員報酬	1,296,000	1,296,000	0
給料手当・賞与	1,097,000	1,125,000	△ 28,000
通勤交通費	57,800	43,000	14,800
福利厚生費	186,600	122,500	64,100
健保厚年保険料・その他福利厚生	186,600	122,500	64,100
退職給付費	0	232,500	△ 232,500
会議費用	28,000	28,000	0
理事会費・総会費	28,000	28,000	0
旅費交通費	5,000	5,000	0
旅費交通費	5,000	5,000	0
通信運搬費	200,000	200,000	0
郵便料・電話料・運搬費	200,000	200,000	0
消耗品費	160,000	160,000	0
消耗什器備品費	74,000	74,000	0
事務用品費	70,000	70,000	0
修繕費	16,000	16,000	0
印刷製本費	160,000	160,000	0
コピー機維持費・印刷費	160,000	160,000	0
新聞図書費	18,000	18,000	0
新聞図書費	18,000	18,000	0
光熱水料費	140,000	140,000	0
電気料・水道料	140,000	140,000	0
賃借料	1,518,000	1,518,000	0
賃借料	1,240,000	1,240,000	0
賃借共益費	278,000	278,000	0
リース料	250,000	250,000	0
事務機他リース料	250,000	250,000	0
支払手数料	400,000	400,000	0
振込手数料	40,000	40,000	0
その他手数料	360,000	360,000	0
租税公課	1,200,000	1,200,000	0
消費税	1,190,500	1,190,500	0
法人都民税	7,000	7,000	0
収入印紙	1,000	1,000	0
国税・地方税	1,500	1,500	0
文字活字文化推進機構会費	100,000	100,000	0
研修費	10,000	10,000	0
雑費	390,000	150,000	240,000
経常費用計	726,782,000	638,713,000	88,069,000
経常収支差額	△3,462,000	△26,029,000	22,567,000

(単位 円)

科	目	予 算 額	前年度予算額	増 減
Ⅱ	投資活動収支の部			
	(1) 投資活動収入			
	業界課題取組準備金引当資産取崩収入	0	0	0
	基本財産引当資産取崩収入	0	0	0
	退職給付引当資産取崩収入	0	2,400,000	△ 2,400,000
	アドバンステキスト制作引当資産取崩収入	0	0	0
	投資活動収入計	0	2,400,000	△ 2,400,000
	(2) 投資活動支出			0
	基本財産引当資産取得支出	0	0	0
	業界課題取組準備金引当資産取得支出	0	0	0
	退職給付引当資産取得支出	0	2,000,000	△ 2,000,000
	アドバンステキスト制作引当資産取得支出	3,250,000	2,000,000	1,250,000
	投資活動支出計	3,250,000	4,000,000	△ 750,000
	投資活動収支増減額	△ 3,250,000	△ 1,600,000	△ 1,650,000
Ⅲ	予備費支出			
	当期収支差額	△ 6,712,000	△ 27,629,000	20,917,000
	前期繰越収支差額	180,534,756	167,889,064	12,645,692
	次期繰越収支差額	173,822,756	140,260,064	33,562,692

財団案内図

- 名 称 一般財団法人出版文化産業振興財団
- 所 在 地 〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 2 丁目 2 番地 30 共同ビル神保町 4 階
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285
<https://www.jp-pic.or.jp/>



交 通

神保町駅 A3 出口 徒歩 1 分（地下鉄／半蔵門線 都営／新宿線・三田線）
水道橋駅 東出口 徒歩 7 分（JR／総武線・中央線）

一般財団法人出版文化産業振興財団
定 款

一般財団法人出版文化産業振興財団 定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般財団法人出版文化産業振興財団（英文名 Japan Publishing Industry Foundation for Culture。略称「JPIC」）と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 この法人は、出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進、出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究、人材育成、情報の収集及び提供等を行うことにより同産業の振興を図るとともに、読書活動の推進をはかることにより、我が国経済社会の健全な発展・国民の生活文化の向上・青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 この法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進
- (2) 出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究
- (3) 出版文化産業及び読書活動に関する人材育成
- (4) 出版文化産業及び読書活動に関する情報収集及び提供
- (5) 出版文化産業及び読書活動に関する内外関係機関等との交流及び協力
- (6) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、日本全国及び海外において行うものとする。

第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管

理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(事業報告及び決算)

第 7 条 事業報告書及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第 1 号及び第 2 号の書類についてはその内容を報告し、第 3 号から第 5 号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- 2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に 5 年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。
- 3 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第 4 章 評議員

(評議員)

第 8 条 この法人に評議員 10 名以上 15 名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第 9 条 評議員の選任及び解任は、評議員会の決議をもって行う。

(任 期)

- 第 10 条 評議員の任期は、選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 任期満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 第 8 条に定める評議員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した評議員は、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬)

第 11 条 評議員の報酬は、無報酬とする。

第5章 評議員会

(構成)

第12条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第13条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (4) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 この法人の評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。定時評議員会は、毎事業年度の終了後3ヶ月以内に開催し、臨時評議員会は、必要に応じて開催する。

(召集)

第15条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が召集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第16条 評議員会の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の3分の2以上に当たる多数を持って行う。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

(決議の省略)

第17条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案

について、議決に加わることでできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

- 第 18 条 理事が、評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項の評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

- 第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長並びに出席評議員及び理事の各 1 名がこれに記名押印するものとする。

第 6 章 役員等

(役 員)

- 第 20 条 この法人に次の役員を置く。
- (1) 理事 10 名以上 20 名以内
 - (2) 監事 3 名以内
- 2 理事のうち 1 名を理事長とし、4 名以内を副理事長、1 名を専務理事、4 名以内を常務理事、2 名以内を業務執行理事とすることができる。
- 3 前項の理事長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

(役員を選任)

- 第 21 条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。
- 2 理事長及び、副理事長、専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 1 項第 2 号に定める業務執行理事は理事会の決議によって理事の中から選定し、うち 1 名は専務理事とする。

(理事の職務及び権限)

- 第 22 条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、この法人を代表し、法人の業務を執行し、専務理事及びその他の業務執行理事は、理事会において別の定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及びその他の業務執行理事は、毎事業年度に 4 ヶ月を超える

間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

- 第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 4 理事又は監事は、第20条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の改選)

- 第25条 理事及び監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

- 第26条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(役員の損害賠償責任の免除)

- 第27条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第114条第1項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として理事会の決議により免除することができる。

(外部役員の責任限定契約)

- 第28条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条において準用する同法第115条第1項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。
- なお、責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第198条

において準用する同法第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額とする。

(顧問)

- 第 29 条 この法人に、顧問 5 人以内を置くことができる。
- 2 顧問は、学識経験者又はこの法人に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、理事長が委嘱する。また解任については理事会において決議する。
- 3 顧問は、この法人の運営に関して理事長の諮問に答え、又は理事長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 5 顧問の報酬は無償とする。
- 6 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

第 7 章 理事会

(構成)

- 第 30 条 理事会は、すべての理事で構成する。

(権限)

- 第 31 条 理事会は、次に掲げる職務を行う。
- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(召集)

- 第 32 条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
- 3 理事会を招集する者は、理事会の日時、場所、目的、その他必要な事項を記載した書面をもって、理事会の日の 1 週間前までに、各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、召集の手続きを経ることなく開催することができる。

(議長)

- 第 33 条 理事会の議長は、理事長とする。

(決議)

- 第 34 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(決議の省略)

- 第 35 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

- 第 36 条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。
- 2 前項の規定は、第 22 条第 3 項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

- 第 37 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第 38 条 この法人は、評議員会の決議によって定款を変更することができる。
- 2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 9 条についても適用する。

(解 散)

- 第 39 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由により解散する。
- 2 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第 9 章 公告の方法

(広告の方法)

- 第 40 条 この法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法とする。

第10章 事務局

(事務局)

第41条 この法人に事務局を置く。事務局の組織及び運営に関して必要な事項は理事会で定める。

第11章 雑 則

(委 任)

第42条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第6条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成25年3月31日までとする。
- 4 この法人の最初の理事長は肥田美代子とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

秋田貞美
柳楽節雄
井上一夫
今村正樹
関谷幸一
高納勝寿
清水康史
増田義和
大塚 茂
鈴木一行
鹿谷史明
岩渕 徹
溝口明秀

伊藤富士男
大橋一弘
坂井宏先
斎藤健司
齊藤隆巳
伊藤 聡
谷川直人
加藤真由美
金田 徹
岩本幸子
和田年正
森岡忠弘
外山義朗

山去賢二
土屋正三
川島孝文
筒井正博
江崎直利
田江泰彦
片岡 隆
小泉忠男
亀井忠雄
石川博史
北島義斉
大湊 満
濱田博信

定款変更履歴

令和元（2019）年8月30日	第8条	一部変更
令和2（2020）年7月31日	第8条	一部変更
令和2（2020）年7月31日	第20条1項	一部変更
令和3（2021）年3月25日	第20条1項および 第20条2項	一部変更

禁無断転載

2026 年 7 月

発 行 一般財団法人 出版文化産業振興財団
東京都千代田区神田神保町 2 丁目 2 番地 30

電 話 03 (5211) 7282

